

カンボジア王国
政府統計能力向上計画（フェーズ2）
終了時評価調査報告書

平成22年7月
(2010年)

独立行政法人国際協力機構
公共政策部

公共
JR
10-036

カンボジア王国
政府統計能力向上計画（フェーズ2）
終了時評価調査報告書

平成22年7月
(2010年)

独立行政法人国際協力機構
公共政策部

序 文

カンボジア王国政府の要請に基づき、日本国政府がカンボジア政府統計能力向上計画プロジェクトフェーズ2を行うことを決定したのに伴い、独立行政法人国際協力機構は、2007年4月から2010年9月までの予定で本技術協力を行っています。

当機構は、2010年2月14日から24日まで終了時評価調査を実施し、これまでの活動実績、進捗状況を確認するとともに、プロジェクト目標の達成状況等について協議しました。

これらの評価結果は、協議議事録に取りまとめられ、調査団・カンボジア計画省統計局双方の合意の下に、署名交換が行われました。

本報告書は、終了時評価調査及び協議結果を取りまとめたものであり、今後の技術協力事業を効果的かつ効率的に実施していくための参考として、活用されることを願うものです。

終わりに、これらの調査にご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心から謝意を表するとともに、引き続き本プロジェクトに対する支援をお願い申し上げる次第です。

平成22年7月

独立行政法人国際協力機構

公共政策部長 中川 寛章

目 次

序 文

略語表

評価調査結果要約表

第1章 終了時評価調査の概要.....	1
1-1 終了時調査団派遣の経緯.....	1
1-2 調査目的.....	1
1-3 調査団の構成と調査期間.....	2
1-4 主要面談者.....	2
第2章 プロジェクトの概要.....	4
2-1 プロジェクトの概要.....	4
2-2 PDM の改訂.....	4
2-3 実施形態.....	5
2-4 他ドナー・他スキームとの連携.....	5
第3章 終了時評価の方法.....	6
第4章 プロジェクトの実績.....	8
4-1 投入実績.....	8
4-2 活動実績.....	8
4-3 プロジェクト目標の達成状況.....	8
4-4 成果の達成状況.....	9
4-5 上位目標の達成見込み.....	10
第5章 評価結果.....	12
5-1 妥当性.....	12
5-2 有効性.....	12
5-3 効率性.....	13
5-4 インパクト.....	14
5-5 自立発展性.....	15
第6章 提言と教訓.....	16
6-1 提 言.....	16
6-2 教 訓.....	16
付属資料	
1. 調査日程.....	21

2. カウンターパート・リスト.....	25
3. 供与機材リスト.....	26
4. 日本人専門家派遣期間.....	27
5. 活動の進捗状況.....	29
6. 上位目標、プロジェクト目標、成果の達成状況.....	31
7. 評価グリッド.....	35
8. 作成技術指導資料一覧表.....	43
9. 終了時評価調査 M/M.....	44
10. PDM（改訂版）.....	68

略 語 表

略語	英語	日本語
C/P	Counterpart	カウンターパート
CTC	Census Technical Committee	センサス技術委員会
JCC	Joint Coordination Committee	合同調整委員会
MDGs	Millennium Development Goals	ミレニアム開発目標
M/M	Minutes of Meeting	協議議事録
NCC	National Census Committee	国家センサス委員会
NIS	National Institute for Statistics	計画省統計局
NSDP	National Strategic Development Plan	国家戦略開発計画
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス
PO	Plan of Operations	活動計画
R/D	Record of Discussion	討議議事録
SIDA	Swedish International Development Agency	スウェーデン国際開発庁
UNDP	United Nations Development Program	国連開発計画
UNFPA	United Nations Population Fund	国連人口基金

評価調査結果要約表

1. 案件の概要	
国名：カンボジア	案件名：政府統計能力向上計画（フェーズ2）
分野：統計	援助形態：技術協力プロジェクト
所轄部署：公共政策部ガバナンスグループ 行政機能課	協力金額（評価時点）：4.3 億円
協力期間	(R/D)：2007.4.23～2010.9.30 先方関係機関：計画省統計局
	(延長)：なし 日本側協力機関：総務省統計局、独立行政法人統計センター、日本統計協会
	(F/U)：なし 他の関連協力：政府統計能力向上計画フェーズ1
<p>1-1 協力の背景と概要</p> <p>カンボジア王国（以下、「カンボジア」と記す）の政府統計は、長期間にわたった内戦の影響から極めて整備が遅れていたが、1990年代に入ってから国連などの支援により、徐々に整備が進められてきた。1998年には、国連人口基金（UNFPA）の支援により、36年ぶりに人口センサス（国勢調査）が実施され、統計整備の重要な第一歩となった。しかし、カンボジアの政府統計は、依然、体制整備が遅れており、統計の精度もドナー国や国際機関等から疑問視されていることも多い。</p> <p>このような状況の下、2004年にカンボジア政府は「2008年人口センサスへの技術指導、人材育成及び経済統計の改善」に対して5年間の技術協力プロジェクトを要請したが、その際、UNFPAの資金拠出の目処が立たず、人口センサス実施が未定となったことから、人口センサスを抱合しない、統計研修を中心とした政府統計能力向上計画（フェーズ1）を開始した。しかし間もなくUNFPAの資金拠出が確定し、2006年1月30日に発令された人口センサス令において、2008年3月に人口センサスが実施されることが決定したため、カンボジア政府は人口センサスに対する技術協力を中心とした要請を日本に提出した。その要請を受け、2008年人口センサス及び一部経済統計調査の実施を通じて、計画省統計局（NIS）、地方統計部局及び各省庁統計部局の人材が強化され、政府統計能力が向上することを目標として、2007年4月から3年半の予定で本プロジェクトが開始された。</p> <p>1-2 協力内容</p> <p>(1) 上位目標</p> <p>カンボジアの国家・地方の政策・計画・戦略の立案や実施のための基礎的かつ有効な統計資料が提供される。</p> <p>(2) プロジェクト目標</p> <p>NIS、州計画局統計部局及び各省統計部局において、人口センサスまたは他の統計調査のための企画・集計処理・分析・提供・利用が基本的にできるようになる。</p> <p>(3) 成果</p> <p>1) 調査区設定作業が完了し、その成果が人口センサスの実施及びその後の各種統計に利用される。</p>	

- 2) 人口センサスの集計及び審査の結果、個別データが作成され、統計表が作成・公表される。
- 3) 人口センサスの統計表に基づき、その結果が統計的に分析され、分析結果が公表される。
- 4) 人口センサス結果のデータベースが構築される。
- 5) 人口センサス結果の報告書が作成され、書籍（統計地図、センサスアトラスを含む）・CD・ウェブサイトにて提供される。
- 6) 人口センサス結果の小地域統計が作成・公表される。
- 7) 事業所名簿が作成され、経済統計調査のサンプリング・フレームとして利用される。
- 8) 関係者間で人口センサスに関して（調査区やセンサス結果など）共通理解が得られる。
- 9) 人口センサスの各活動の手続の詳細（重要なプロセス、重要事例、マニュアルなど）が準備され、集積される。
- 10) 人口センサスに関してドナー間の調整が適切に行われる。

(4) 投入（評価時点）

1) 日本側

総投入額 4.3 億円

- ・長期専門家派遣 0 名
- ・短期専門家派遣 31 名
- ・研修員受入れ 9 名
- ・在外事業強化費（機材供与含む） 0.2 億円
- ・ローカルコスト負担 0 円

2) 相手国側

- ・カウンターパート（C/P）配置 24 名（主要な C/P 数）
- ・土地・施設提供
- ・ノンプロジェクト無償資金協力見返り資金 約 2 億円

2. 評価調査団の概要

調査者	（担当分野：氏名 職位）	
	総括・団長 辻 一人	JICA 公共政策部 技術審議役
	政府統計 木村 正一	総務省統計局統計調査部消費統計課 調査官
	評価企画 星 光孝	JICA 公共政策部行政機能課 職員

調査期間	2010 年 2 月 14 日～24 日	評価種類：終了時評価
------	----------------------	------------

3. 評価結果の概要

3-1 実績の確認

(1) プロジェクト目標の達成見込み

NIS、州計画局統計部局、関係省庁統計部局の政府統計能力について、5 段階評価にて主要スタッフの本プロジェクト開始以降の能力の向上度合いを測定し（評価は、NIS については日本人専門家及び NIS 幹部職員が、州計画局については NIS 幹部職員及び州計画局長が、関係省庁は各省統計部局幹部がそれぞれ行った）、能力評価の平均値をプロジェクト開始時点と終了時評価調査時点の間で比較した結果、NIS、州計画局、関係省庁いずれも向上していることが確認されており、プロジェクト目標は達成される見込みであるといえる。

(2) 成果の達成見込み

すべての成果は、既に達成済みまたは協力期間内に達成できる見込みである。成果1から成果7は人口センサス及び事業所リスティングの実施に必要な専門技術・知識の移転に関する部分である。人口センサスに関しては、調査区すべての地図を作成し、NISと州計画局職員を中心に指導員の育成を行ったうえ、国内の全戸数を対象とした調査を滞りなく実施した。集計においても、NIS職員は統計情報の集計に必要なデータ処理技術を身に付けたうえで着実に作業を進め、遅滞なく速報、及び確報結果を公表できた。結果表は、国、州、郡レベルに加えて、1998年の人口センサスでは作成しなかったコミュニケーションレベルの表も作成され、これら情報を元に4種類のコミュニケーションレベルの統計地図を作成し、データを可視化することにより、統計情報の利用推進に大きく貢献した。事業所リスティングはカンボジア初の事業であったが、プノンペン市など事業所数の多い地域で事業所調査期間を延長したことがあったが、その後の集計、分析、結果公表は順調に行われ、当初計画から遅滞なく着実な進展がみられている。このように、技術的観点からみればNIS職員がこれら調査を自立的に行う能力は向上しつつあるといえる。成果8の政府関係者を対象に政府統計結果利用に関する啓発普及を目的に実施した活動も順調であり、今次調査において中央省庁レベルでの統計情報の活用が進んでいることが確認された。成果9の技術・知識の集積についても、人口センサスに係る記録・マニュアルなどは既に作成されており、成果10に関して、プロジェクトとして設置するJCCのほかに、カンボジアのイニシアティブにより設置された国家センサス委員会(NCC)やセンサス技術委員会(CTC)も適宜開催され調整機能を十分に果たしており、成果は達成されたといえる。

3-2 評価結果の要約

(1) 妥当性

グッド・ガバナンスの推進は、カンボジアの国家戦略である「四辺形戦略」の中心に位置づけられており、カンボジア政府はグッド・ガバナンス推進に向けて政策立案・モニタリングの基礎となる政府統計情報の整備に力を入れている。日本のカンボジアに対する援助方針でも、グッド・ガバナンスの推進は援助重点分野の1つに、また「政府統計機能強化プログラム」は重点プログラムにそれぞれ位置づけられており、本プロジェクトの妥当性は高い。

(2) 有効性

2008年人口センサスの調査区設定、調査実施、集計及びデータの審査は当初の予定通りのスケジュールで作業を終了させることができ、分析、報告書刊行についても期日通りに作成・提供される予定となっている。また人口センサス実施に係る一連の手続きは、マニュアルや報告書として記録・集積されており、次回調査時まで技術・知識が散逸されないよう工夫されている。本プロジェクトを通じて、人口センサスに係る基本的な業務実施能力は向上しており、有効性は非常に高い。

本プロジェクトにおいて育成された2008年人口センサスの指導員の数は7,104人であり、本人口センサスは全戸数を対象に行われた調査であるにもかかわらず、カンボジアが前回実施した1998年人口センサス(全戸数を対象にしていない)の時の指導員数(8,354

人) よりも少ない人数で効率良く調査を実施できたのは、各指導員の能力が向上した結果であるといえる。また今次評価調査において、NIS、州計画局、関係省庁統計担当部局職員を対象に能力評価を実施したが、NIS 職員の能力評価の平均値は関係部局すべてにおいてプロジェクト開始時点より上昇し、州計画局及び関係省庁統計部局の統計情報利用に関する能力評価の平均値も向上していることが確認されており、本プロジェクトの実施が C/P の能力向上に結びついていることが確認された。

(3) 効率性

調査の計画、実施、集計、分析、結果の提供の各段階において、専門家に求められる技術・知識は異なるため多くの専門家の関与が必要であったが、短期間のシャトル型で適宜必要とされる分野の専門家を派遣することにより、経費的な観点からみても効果的な投入が行われた。また人口センサスの調査員手当などに日本のノンプロジェクト無償資金協力見返り資金が活用されており、本プロジェクトとの連携が効果的に行われていたほか、UNFPA など関係機関の連携・調整も円滑に行われた。プロジェクトコストは、協力開始前の想定コストと比較して増加したが、人口センサスの分析結果レポートの種類の拡充や、人材育成のための研修の拡充を行った結果によるものであり、C/P の能力向上及び NIS が提供する統計情報の充実に結びついており、プロジェクト目標、上位目標の達成のうえで、経費は効果的に使用されたといえる。

(4) インパクト

中央省庁レベルでは、NIS がプロジェクトを通じて作成した人口センサス、事業所リスティング結果が、女性省及び労働職業訓練省での政策立案やモニタリング、2009～2013 年のカンボジア国家戦略開発計画 (NSDP) 策定、カンボジアのミレニアム開発目標 (MDGs) モニタリングに既に利用されており、政策策定者に統計情報の有用性が認識されつつあり、上位目標の達成が見込まれる。州政府以下のレベルにおけるインパクトはまだ限定的であるが、将来、州以下の行政単位における結果分析と提供が十分に行えるようになれば、インパクトはさらに高まることが期待される。

(5) 自立発展性

プロジェクト実施期間を通じて NIS の予算は増加傾向にあり、プロジェクト終了後も NIS への予算配布は高い優先度が置かれることが見込まれるほか、NIS は 2009 年に新たに国民経済計算、統計基準分析、情報通信技術 (ICT) の各部門を設置しており、組織面についても強化されてきている。また NIS においては離職率が低いこと、本プロジェクトにおいて各種マニュアルが整備されたこと、NIS 保有資機材の維持管理体制も強化されていることなどから、NIS は自立的な発展に向けて順調に組織強化が図られてきているといえる。

3-3 効果発現に貢献した要因

(1) 計画内容に関すること

プロジェクトの進捗をカンボジアが策定した 2008 年人口センサススケジュールに合わ

せ計画することにより、適切なタイミングで適切な投入を行うことができ、高い有効性の発現に寄与した。

(2) 実施プロセスに関すること

当プロジェクトでは他ドナー（UNFPA、ドイツ政府）及び他スキーム（ノンプロジェクト無償資金見返り資金）と連携することにより、ドナー間の活動内容の調整や人口センサス実施に係る資金面の確保など、高い効率性の発現に寄与した。また、カンボジア側のイニシアティブにより、NCC、CTC といったカンボジア関係政府機関、関係ドナーが定期的集まり情報共有と調整を行う場が設定されており、多様な関係者間の意思疎通も支障なく行われ、円滑なプロジェクト活動に寄与した。

また本プロジェクトでは、人繰りの関係上、総務省関係機関からの専門家は短期のシャトル型派遣となったことから、別途コンサルタントを中心とする業務実施契約ベースの現地実施・モニタリング体制を確立し、相互に連絡・調整を行いながら、プロジェクト活動を補完しあう体制を取ったことも、円滑なプロジェクト運営につながった。

3-4 問題点及び問題を惹起した要因

(1) 計画内容に関すること

プロジェクトの計画段階では、2008年人口センサス、2009年事業所リスティングの実施に向けて、作業工程ごとに詳細な計画策定を行ったが、カンボジア初の全数調査による人口センサス実施であったことや事業所リスティングは同国初の実施であったこともあり、実際に活動を行ってみると、当初の想定以上に作業時間が必要と判明した工程が出てくるなど、プロジェクト期間途中で計画見直しを行う必要が生じた。このため、集計など一部の活動に関し、プロジェクトの進捗に遅れが生じた時期があったが、カンボジア側、他ドナーと調整のもと、調査員数の増加や、集計作業員の業務方法見直しなど、中間レビュー時のプロジェクト・デザイン・マトリックス（PDM）改訂を含め適切な計画見直しを行ったため、最終的には所定の期間の中で、当初の目標・成果を達成することができた。

(2) 実施プロセスに関すること

事業所リスティング実施に関して、カンボジア政府内部の予算調整が難航していたことから、カンボジア政府負担分の予算確保が遅れ、実施準備に影響が出ていたが、中間レビュー時の計画省大臣との会談結果を受け、同大臣が経済財政省等関係機関と調整を行い、予定通り実施にこぎつけることができた。

3-5 結論

カンボジアのさまざまなセクターの開発計画策定やモニタリングに必要な基礎情報となる政府統計の能力を強化する本プロジェクトは、必要性、意義、インパクトからみて適切な内容であったといえる。C/P機関であるNISは、過去に人口センサスを行った経験はあるものの、本プロジェクトで支援した全数による調査は初めてであり、効率的なカンボジア・他ドナーなど関係機関との連携の下、詳細な計画策定能力の向上、及び、調査票設計、集計、分析など多様な専門技術を一定のレベルまで身に付け、より精度の高い統計情報を提供できるようになり、将来カンボジアが客観的データに基づいた開発計画策定を行うための基盤構築に貢献し

た。他方、技術の維持と向上のためには更なる経験を積んでいくことが重要であり、持続性、自立発展性を高めるべく、本プロジェクトの終了後も中間年人口調査など政府統計を定期的かつ適切に実施し、本プロジェクトで培った技術・知識を定着させていくことが重要である。

3-6 提言（当該プロジェクトに関する具体的な措置、提案、助言）

- (1) 当プロジェクトで作成された人口センサス、事業所リスティング結果の有用性を他省庁や関係機関に広めるためには、詳細分析レポートの出版と普及を促進する必要がある。そのためには今後 NIS において、包括的かつ網羅的なデータを入手できる体制を整備することが必要である。
- (2) 州政府以下のレベルにおいて、今回の調査結果はまだ十分に活用されているとはいえない。今後、州・郡・コミュニケーションレベルを対象として、結果分析及び提供能力の向上を図ることにより、NIS が行う調査結果が州レベル以下においても有効活用されることが期待できる。
- (3) 人口センサスは 10 年に一度行われるのみであり、本プロジェクトで蓄積した知見が次回までに劣化してしまうおそれがある。知見を維持するためには「中間年人口（サンプル調査）を実施するなどの対策が必要であり、経済センサスについても同様のことがいえる。

3-7 教訓（当該プロジェクトから導き出された他の類似プロジェクトの発掘・形成、実施、運営管理に参考となる事柄）

- (1) JICA 専門家が、C/P に寄り添う形で C/P の希望と意思を尊重しつつ、業務を代替するのではなく、「協同」事業として進めることが重要である。本プロジェクトではこのように業務を実施した結果、日本側の専門家が不在の間も C/P の自立的な業務実施が可能となった。
- (2) 本プロジェクトでは日本の経験だけでなく、JICA が長年協力してきた「インドネシア統計分野での教訓」がきめ細かく踏まえられている点も本プロジェクトの成功に寄与している。
- (3) 調査項目や内容について、あらかじめ各省庁の要望を聞き、協力を得ることで、関係省庁において、調査結果が政策立案・実施のためにより多く活用される結果につながる。

3-8 フォローアップ状況

本評価調査で得られた提言は、2010 年度新規案件「政府統計能力向上プロジェクトフェーズ 3」の案件形成に反映させる予定。

第1章 終了時評価調査の概要

1-1 終了時調査団派遣の経緯

カンボジア王国（以下、「カンボジア」と記す）の政府統計は、長期間にわたった内戦の影響から極めて整備が遅れていたが、1990年代に入ってから国連などの支援により、徐々に整備が進められてきた。1998年には、国連人口基金（United Nations Population Fund : UNFPA）の支援により、36年ぶりに人口センサスが実施され、統計整備の重要な第一歩となった。しかし、カンボジアの政府統計は、依然、体制整備が遅れており、統計の精度もドナー国や国際機関等から疑問視されていることも多い。

このような状況の下、2004年8月、カンボジア政府は「2008年人口センサスへの技術指導、人材育成及び経済統計の改善」に対して5年間の技術協力プロジェクトをわが国に要請したが、UNFPAの資金拠出の目処が立たず、人口センサス実施が未定となった。そのためわが国はまず2005年8月から2007年3月まで、計画省統計局（National Statistics Institute : NIS）職員、州計画局統計担当職員及び関係省庁統計担当職員の統計能力向上を目的とした、統計研修中心の「政府統計能力向上計画（フェーズ1）」を実施した。その後、UNFPAの資金拠出が確定し、2006年1月30日に人口センサス令が発令され、2008年3月に次回の人口センサスが実施されることが決定し、カンボジア政府はわが国政府に対し、人口センサスに対する技術協力を中心としたフェーズ2を要請した。その要請に応え、2007年4月から2010年9月までの3年半の予定でNISをカウンターパート（Counterpart : C/P）として、本「政府統計能力向上計画（フェーズ2）」（以下、「プロジェクト」と記す）が開始された。

今次調査は、2010年9月のプロジェクト終了を控え、カンボジア側と合同で終了時評価調査を行い、これまで実施した協力について、当初計画に照らし、プロジェクトの活動実績、プロジェクトの目標達成度などについて評価を行ったものである。2010年2月23日、タン統計局長と辻JICA終了時評価団長との間で評価調査内容に関する協議議事録（Minutes of Meeting : M/M）の署名交換が行われた。

1-2 調査目的

- (1) 討議議事録（Record of Discussion : R/D）及び中間レビュー時に改訂したプロジェクト・デザイン・マトリックス（Project Design Matrix : PDM）に基づき、これまでのプロジェクト活動の進捗状況、実績、プロセス、及び目標の達成見込みを整理及び確認する。
- (2) プロジェクトについて評価5項目のうち妥当性、有効性、効率性を現状・実績に基づいてレビューする。成果の実績や活動状況に基づいて、インパクトの予測、自立発展性の見込みについて検討する。
- (3) カンボジア側が事業を継続する場合の留意点及び他国で類似プロジェクトを実施する際の教訓を得る。
- (4) 上記について、終了時までの活動内容につき、C/P機関との間で合意を形成し、協議内容をM/M（英文）としてまとめ、その内容につきC/P機関との合意を形成する。

- (5) 今後の協力方針に関する横断的な教訓や提言については、終了時評価報告書（和文）に取りまとめる。

1-3 調査団の構成と調査期間

(1) 調査団構成

氏名	担当業務	所属
辻 一人	団長	独立行政法人国際協力機構公共政策部 技術審議役
木村 正一	政府統計	総務省統計局統計調査部消費統計課 調査官
星 光孝	評価企画	独立行政法人国際協力機構公共政策部行政機能課 職員

- (2) 調査期間：2010年2月14日～2月24日

詳細は付属資料1参照。

1-4 主要面談者

<カンボジア側>

(1) 計画省

H.E. Mr. Chhay Than Senior Minister

(2) 計画省統計局（National Institute for Statistics : NIS）

H.E. Mr. San Sy Than Director General, NIS

H.E. Mr. Seng Soeurn Deputy Director General

H.E. Mr. Khieu Sary Deputy Director General

H.E. Ms. Hang Lina Deputy Director General

Mr. Has Bunton Deputy Director General

Mr. Hor Darith Deputy Director General

Mr. Khin Sovorlak Deputy Director General

Mr. Mich Kanthul Director of Economic Statistics Department

Mr. They Kheam Director of Census and Survey Department

Mr. Saint Lundy Director of ICT Department

Mr. Sam Sok Sotheavuth Deputy Director of ICT Department

Mr. Try Socheat Deputy Director of Economic Statistics Department

(3) 女性省

(4) 労働職業訓練省

(5) Takeo 州

<他ドナー>

- (1) スウェーデン国際開発庁（Swedish International Development Agency : SIDA）

Ms. Birotta Mauufelf

Chief Advisor

- (2) 国連開発計画 (United Nations Development Program : UNDP)
(Project office for strengthening democracy and electoral process)

Ms. Manuela Popovici

<日本側>

- (1) プロジェクト専門家

西 文彦

チーフアドバイザー

大友 篤

総括/小地域統計Ⅰ/調査区設定Ⅱ/統計分析Ⅲ

石田 保夫

事業所リスティングⅠ

早瀬 保子

統計分析Ⅰ

遠藤 尚

統計 GISⅠ/小地域統計Ⅱ

西山 かおり

人口センサス実施管理Ⅰ

高木 晃

人口センサス結果提供Ⅱ/業務調整

- (2) 在カンボジア日本国大使館

黒木 雅文

特命全権大使

中谷 純之

二等書記官

- (3) JICA カンボジア事務所

鈴木 康二郎

所 長

小林 雪治

次 長

寺田 美紀

企画調査員

第2章 プロジェクトの概要

2-1 プロジェクトの概要

(1) 協力期間

2007年4月～2010年9月（3年6か月間）

(2) 相手国実施機関

NIS

(3) 目標

1) 上位目標

カンボジアの国家・地方の政策・計画・戦略の立案や実施のための基礎的かつ有効な統計資料が提供される。

2) プロジェクト目標

NIS、州計画局統計部局及び各省統計部局において、人口センサスまたは他の統計調査のための企画・集計処理・分析・提供・利用が基本的にできるようになる。

(4) 成果

1) 調査区設定作業が完了し、その成果が人口センサスの実施及びその後の各種統計に利用される。

2) 人口センサスの集計及び審査の結果、個別データが作成され、統計表が作成・公表される。

3) 人口センサスの統計表に基づき、その結果が統計的に分析され、分析結果が公表される。

4) 人口センサス結果のデータベースが構築される。

5) 人口センサス結果の報告書が作成され、書籍（統計地図、センサスアトラスを含む）・CD・ウェブサイトにて提供される。

6) 人口センサス結果の小地域統計が作成・公表される。

7) 事業所名簿が作成され、経済統計調査のサンプリング・フレームとして利用される。

8) 関係者間で人口センサスに関して（調査区やセンサス結果など）共通理解が得られる。

9) 人口センサスの各活動の手続の詳細（重要なプロセス、重要事例、マニュアルなど）が準備され、集積される。

10) 人口センサスに関してドナー間の調整が適切に行われる。

2-2 PDMの改訂

プロジェクト開始後の活動実績・状況を踏まえ、中間レビューにおいてPDMの改訂を行った。改訂のポイントは、プロジェクト対象地域・対象機関をより明確にすること、及びプロジェクト目標達成に係る指標・外部条件の追加である。

プロジェクト対象機関に関しては「主要関係省庁（Main line ministries）を「関係省庁（Line ministries concerned）」としたほか、単に「州（Provinces）」と記載されていたものを「州計画局（Provincial planning departments）」と、より明確にした。また、プロジェクト目標の指標に、組

織として能力を測定する指標として「人口センサス及び事業所リスティングに際して育成された指導員の数」を追加し、外部条件に「必要な予算が確保される」を追加した。

2-3 実施形態

「政府統計」は、一般的な統計学・統計技術のほかに、人口センサスや経済センサスなど全国・全数を対象とする調査の実施に関する知見が必要とされる分野である。日本では、「政府統計」は主に総務省統計局を中心に実施されており、本プロジェクトでも総務省統計局ほか関係機関の協力を得て実施している。

政府統計の実施にはさまざまな手順を踏む必要があり、各手順について適切な技術・知識を習得して計画通りに実行できる能力を身に付けることが必要であり、日本側による進捗管理と適時の技術移転が着実な実施のために重要である。本プロジェクトでは、人繰りの関係上、総務省関係機関からの専門家は短期のシャトル型派遣となることから、別途コンサルタントを中心とする業務実施契約ベースの現地実施・モニタリング体制を確立し、相互に連絡・調整を行いながら、プロジェクト活動を補完しあう体制を取り、円滑な実施につなげることができた。

2-4 他ドナー・他スキームとの連携

プロジェクトが対象とした 2008 年人口センサスに係る技術支援に関して、他ドナー（UNFPA、ドイツ政府）及び他のスキーム（ノンプロジェクト無償資金協力見返り資金）との効果的な連携が行われた。技術移転においては、NIS、UNFPA、JICA プロジェクトの間で人口センサス実施の一連の活動に係る役割分担の整理を行った。総務省専門家と UNFPA 専門家の派遣時期が重なるよう調整し、人口センサスに係る個々のプロセスの進め方など意見交換を随時行い、NIS に対して複数の機関が同時に技術移転することにより生じる弊害をなくし、逆に相乗効果が計られるよう調整を行った。

資金面においても連携が図られた。カンボジア内の全戸数を対象に実施する同センサスには、約 630 万米ドルの経費が必要であったが、UNFPA 及びドイツ政府からの資金援助、及び日本政府のノンプロジェクト無償資金協力見返り資金を活用することができ、計画通りに 2008 年 3 月に同国初の全戸数を対象とした人口センサスが実施され、その後も集計、結果分析、提供まで資金不足による遅滞もなく実施された。

第3章 終了時評価の方法

本評価では「プロジェクト評価の実践的手法－JICA 事業評価ガイドライン改訂版¹」に沿って、評価調査時点でのプロジェクトの計画達成状況、実施プロセスを、2006年12月に締結されたプロジェクトのR/D及び2009年2月の中間レビュー時に改訂したPDMに基づいて把握、検証し、その結果に対しカンボジア政府側と合同で評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性）の観点から価値判断を行った。評価結果については取りまとめを行ったうえ、カンボジア側とM/Mを締結した（付属資料9参照）。

具体的な調査方法は次のとおりである。

（1）文献資料調査と評価デザインの検討

国内において、R/D、中間レビュー調査報告書、プロジェクト事業進捗報告書、専門家業務完了報告書、その他プロジェクト関連資料の精査を行った。これを踏まえて評価設問を設定し、評価グリッド（付属資料7）に取りまとめた。

（2）インタビュー調査、資料入手による実績確認

現地でのインタビュー対象者は、日本側から専門家、カンボジア側からNISの主要C/P、州計画局（Takeo州）、関係中央省庁（女性省、労働職業訓練省）とした。また、参考意見として、SIDA、UNDPプロジェクトオフィスからも聞き取りを行った。

（3）C/Pの能力評価

本プロジェクトのターゲット・グループであるNIS、全24州計画局及び関係中央省庁（主要6省庁）の統計担当部局職員の政府統計に関する能力向上度合いの測定については、事前に5段階評価方式の評価シートを評価者に配布したうえで、その評価結果を元に補足的に聞き取りを行い、総合的な評価を行った。評価対象者は、NIS、州計画局、関係省庁統計部局の中から、それぞれ主たる関係者を選定のうえ対象とした。評価は、NIS職員については日本人専門家及びNIS幹部職員（Deputy Director General）が実施し、州計画局職員についてはNISのDeputy Director General、Director及び州計画局長が、関係省庁職員については各省統計担当部局のHead及びDeputy Headが実施した。

（4）収集データの分析、分析結果に基づく価値判断

インタビューや能力評価などで収集した情報を、カンボジアのC/Pとともにプロジェクトのこれまでの活動実績及び実施プロセスを分析、検証し、評価5項目に基づいて評価を行った。

（5）カンボジア側との協議とM/Mの署名

評価結果については取りまとめ、カンボジア側と協議を行い、今後の提言・教訓について

¹ 独立行政法人国際協力機構企画・評価部評価監理室編：「プロジェクト評価の実践的手法－JICA 評価ガイドライン改訂版」、国際協力出版会、2004年。

合意を得たうえで、M/Mに署名した。

なお、JICAにおけるプロジェクト評価の基本的な方法論である評価5項目ごとの評価観点と調査方針は以下のとおりに整理できる。

1) 妥当性

政府統計能力向上のための協力が、日本・カンボジア両国の援助・開発政策において支持されているかを示すために両国の援助・開発政策をまとめた文書を取り上げる。

2) 有効性

プロジェクト目標は「NIS、州計画局統計部局及び関係省庁統計部局において、人口センサスまたは他の統計調査のための企画・集計処理・分析・提供・利用が基本的にできるようになる」であることから、「プロジェクトの結果、NIS、州計画局統計部局及び関係省庁統計担当部局の職員の統計能力が向上したか」と「人口センサス及び事業所リスティングの際に育成された指導員の数」についてプロジェクトの実績を明らかにするとともに、プロジェクト目標の達成について特に貢献・阻害した要因がないかについても分析する。

3) 効率性

プロジェクトにおける投入と活動が成果産出のために妥当であるかについて、主に投入・活動の質・量、タイミングの適切性と成果産出への貢献・阻害要因の有無を分析する。

4) インパクト

上位目標の達成見込み及びその他の波及効果について、聞き取り調査結果を中心に分析する。

5) 自立発展性

NISが、今後も必要な政府統計の整備と結果の提供を維持できるかについて、政府統計整備のカンボジア政府の政策中での優先度、活動計画の有無について確認する。

第4章 プロジェクトの実績

4-1 投入実績

成果（アウトプット）を産出するための日本側の投入（インプット）を人材、国別研修、経費の項目に分けてまとめると次のとおりになる。このほか、日本政府のノンプロジェクト無償資金協力見返り資金（1,953,750 米ドル）が人口センサスの実施支援に活用されている。カンボジア側は、24名のC/P人員の配置（付属資料2参照）、専門家執務スペース及び事務用品の提供、プロジェクト活動に係る諸経費に加え、人口センサス実施必要経費の一部（746,758 米ドル）を負担している。

<プロジェクトの投入実績（日本側）²>

（単位：千円）

		2007年度	2008年度	2009年度	2010年度 ³
専門家派遣	短期	9名派遣	9名派遣	9名派遣	4名派遣
国別研修		2007年9月9日～10月6日、3名参加	2009年1月15日～2月13日、3名参加	2009年10月15日～11月13日、3名参加	-
経費	専門家	6,966	7,935	6,359	4,037
	調査団	132	2,063	21	-
	国別研修	5,514	2,152	2,277	-
	在外事業強化費 ⁴	1,585	3,761	10,669	5,690
	契約	84,853	97,044	128,887	870
合計		99,050	112,955	148,213	10,597

4-2 活動実績

いずれの活動も、ほぼ計画通り遅滞なく実施しており、協力期間内に活動をすべて終了できる見込みである。（詳細は付属資料5「活動の進捗状況」を参照）

4-3 プロジェクト目標の達成状況

プロジェクト目標は、「NIS、州計画局統計部局及び各省統計部局において、人口センサスまたは他の統計調査のための企画・集計処理・分析・提供・利用が基本的にできるようになる」ことである。2009年2月の中間レビュー調査において改訂したPDMでは、プロジェクト目標の達成度を定量的に測る指標に修正する見直しを実施し、「NISにおいて統計能力のある職員数」「州計画局及び関係省庁の統計部局において人口センサスの結果を活用・分析する能力のある職員数」「人口センサス及び事業所リスティングの際に育成された指導員の数」とすることとした。「能力のある職員数」については、政府統計に関する理解度について、NIS、州計画局統計部局、関係

² 終了時評価時点の実績

³ 2010年度については予定人数、計画額を記載

⁴ 資機材等購入費を含む。

省庁統計部局の職務階層・職種ごとに、プロジェクト期間を通じてどのように変化してきたかを5段階評価(5が最も理解度が高い)によって、開始時点と終了時評価時点との定点比較で測定し、目標の達成度を測ることとした。なお、評価者は、NISについては日本人専門家及びNIS幹部職員が、州計画局についてはNIS幹部職員及び州計画局長が、また関係省庁は各省統計部局幹部が担うこととした。

上記方法に従い、終了時評価において、NIS、州計画局統計部局、関係省庁統計部局の政府統計に関する理解度・能力を測定した。

能力評価の平均値をプロジェクト開始時点と終了時評価調査時点の間で比較した結果、NIS、州計画局、関係省庁いずれも向上していることが確認されており⁵、特に、NIS職員の理解度は非常に高く、プロジェクト目標は達成される見込みであるといえる。州計画局統計部局、関係省庁統計部局の理解度については、本プロジェクトが支援した人口センサス、事業所リスティングの実施プロセスにおける直接的な関与が少なかったこともあり、プロジェクト開始時点からは向上が見られるものの、NISと比べてまだ向上の余地が大きいのが現状である。引き続き、政府統計に関する経験を蓄積していくことで、将来、独自で政府統計を実施するレベルまで能力を上げることができれば、同国が政策として進める地方分権化において、地方行政能力の向上(政策立案・モニタリング)にも資するものと期待される(詳細は、付属資料6「上位目標、プロジェクト目標、成果の達成状況」を参照)。

4-4 成果の達成状況

本プロジェクトでめざした成果は、いずれも既に達成済みまたは協力期間内に達成できる見込みであることが確認された。

本プロジェクトでは、人口センサス実施に必要な知識・技術に関して、計画段階から最終的な結果公表までを実施プロセスごとに区切り、各プロセスに成果を設定することとし、各プロセスの成果を達成することによって、プロジェクト終了後も人口センサスの実施が最初から最後まで確実に行えるよう配慮した。成果の達成度を測る指標として、実施プロセスの完了ごとに生じる成果物の数、セミナー・研修等開催数や参加者数、参加者の理解度などを採用した。終了時評価との比較を行うベースラインとして、1998年人口センサスの実施過程で生じた成果物などの数値を採用し、本プロジェクトが支援した2008年人口センサスが、前回1998年と比較して成果の面での程度進歩したのか、度合いが客観的にわかるようにした。なお、事業所リスティングについては、同国初の実施であったため比較できる対象がなく、ベースラインはゼロとして設定した。

成果1から成果7は人口センサス及び事業所リスティングの実施に必要な専門技術・知識の移転に関する部分である。人口センサスに関しては、調査区すべての地図を作成し、NISと州計画局職員を中心に指導員の育成を行ったうえ、国内の全戸数を対象とした調査を滞りなく実施した。集計においても、NIS職員は統計情報の集計に必要なデータ処理技術を身に付けたうえで着実に

⁵ ①NIS人口センサスに関する評価結果：Management (3.89→4.52)、Planning Monitoring (3.92→4.58)、Assistant Planning / Data Processing / Cartography (3.20→3.90)、Support Staff Planning / Data Processing / Cartography (3.61→4.28)、Data Entry Supervisor (3.70→4.40)、Editing / coding and Data Entry (3.14→3.71)、Computer Editing, Programming, Tabulation (3.20→4.10)

②NIS事業所リスティングに関する評価結果：Management (4.33→4.90)、Finance and Logistics (3.73→4.10)、Planning (3.27→4.25)、Manual Editing and Coding (3.50→4.54)、Data Processing (3.27→4.29)

③州計画局評価結果：人口センサス (3.28→4.04)、事業所リスティング (3.34→3.98)

④関係省庁評価結果：人口センサス (2.43→3.86)、事業所リスティング (2.33→3.83)

作業を進め、遅滞なく速報、及び確報結果を公表できた。結果表は、国、州、郡レベルに加えて、1998年の人口センサスでは作成しなかったコミューンレベルの表も作成され、これら情報を元に4種類のコミューンレベルの統計地図を作成しデータを可視化することにより、統計情報の利用推進に大きく貢献した。2008年人口センサスは、カンボジア初の全戸数を対象とした調査であったが、その成果物として、全人口の個別データ（約1339万個）を作成し、今後のさまざまな統計調査への利用を可能とする統計情報の基盤を整備できたことは特筆すべき点であるほか、人口センサス結果の分析レポートに関しても、日本人専門家の指導を受けつつNIS職員自身が作成に携わったことは、UNFPA 専門家が独自で作成した1998年人口センサスと比較すれば進歩といえる。

事業所リスティングはカンボジアで初めて実施されたが、プノンペン市などの地域で、想定したよりも実際の事業所数が多いことがわかり事業所調査期間を延長したことがあったものの、予備人員の中から調査員を追加することにより延長期間を最小限にとどめるなど対応を取り、その後の集計、分析を経て、速報、確報結果の公表はプロジェクト開始当初計画したとおりの時期に行われるなど、遅滞なく進行している。このように、人口センサス、事業所リスティングに係る各プロセスについて成果が達成されつつある点から判断すると、技術的観点からみればNIS職員がこれら調査を自立的に行う能力は向上しつつあるといえる。

成果8の政府関係者を対象とする政府統計結果利用に関する啓発普及を目的に実施した活動についても、これまでに5回のセミナーを開催しており、今次調査において中央省庁レベルでの統計情報の活用が進んでいることが確認されたことから達成に向けて順調に進んでいるほか、組織としての知識の蓄積に係る成果9についても、各活動手続きについては資料として作成・保管されておりNIS内の関係者間で共有が図られているほか、援助協調の取り組みに係る成果10についてもプロジェクトとして設置するJCCのほかに、カンボジアのイニシアティブにより設置された国家センサス委員会（National Census Committee : NCC）やセンサス技術委員会（Census Technical Committee : CTC）も適宜開催され調整機能を十分に果たしており、成果は達成されたといえる。このように、NISは、C/P個人のレベルだけではなく組織レベルにおいても人口センサス、事業所リスティングの実施能力を向上したといえる。（各成果達成状況の詳細については、付属資料6を参照）

4-5 上位目標の達成見込み

本プロジェクトの上位目標は「カンボジアの国家・地方・計画・戦略の立案や実施のための基礎的かつ有効な統計資料が提供される」である。本プロジェクトでは、上位目標達成の指標として、統計資料がどの程度作成・提供されているのか、また統計資料の利用者はどの程度存在するのかを定量的に図る指標として、「NISの刊行物数及びその周期」「NISの刊行物の数とその販売量」「NISのウェブサイトへのアクセス数及び新規情報の追加」の3つを設定した。終了時評価調査では、2008年人口センサスに関する刊行物数は37であり、1998年人口センサスでの17から倍増しているほか、NISが実施する統計調査数も1997～1999年間で11、2003～2005年間で15、2007～2009年間で23と徐々に増加しており、それに伴いNISが提供する統計資料の数も増加してきていると判断される。また、NIS刊行物の販売量も、2006年は280冊だったものが、2009年には倍以上の577冊に上っており、ウェブサイトアクセス数もウェブ上で提供される統計資料の数が2006年の10件から2009年には17件に増えたこともあり、2006年の6万件から2009年には19万件に伸びた。このように、NISにより提供される統計情報の量、及び統計情報へのアクセスは

着実に伸びていることから、上位目標は達成される見込みが高いと判断できる。(詳細は、付属資料 6 を参照)

第5章 評価結果

妥当性、有効性、効率性は非常に高いと判断された。また、インパクト、自立発展性についても高いと判断された。以下、各項目の結果概要について記す（詳細については、付属資料 7「評価グリッド」を参照）。

5-1 妥当性

本プロジェクトはカンボジア政府の国家戦略に合致していること、ターゲット・グループのニーズと適合していること、C/P の基礎的能力向上につながるアプローチを取っていることにより、妥当性は非常に高いと判断できる。

(1) カンボジア政府の政策との整合性

グッド・ガバナンスの推進は、カンボジアの国家戦略である「四辺形戦略」の中心に位置づけられており、カンボジア政府は同国グッド・ガバナンス推進に向けて政策立案・モニタリングの基礎となる政府統計情報の整備に力を入れている。わが国の国別援助方針でも、グッド・ガバナンスの推進は援助重点分野の 1 つに位置づけられており、「政府統計機能強化プログラム」は同重点課題の中の重点プログラムに位置づけられている。このように、本プロジェクトはカンボジア政府の政策との整合性が高い。

(2) ターゲット・グループのニーズとの整合性

カンボジアの政府統計は体制整備が遅れており、提供される政府統計の精度について課題を抱えている。2008 年人口センサスの円滑な実施や経済統計の改善は政府統計を担当する NIS にとって喫緊の課題であり、2008 年人口センサス及び一部経済統計調査の実施支援を通じて、計画省統計局、地方統計部局及び各省庁統計部局の政府統計能力強化を行う必要性は極めて高い。2008 年人口センサスの結果は既にカンボジアの国家戦略開発計画（2009-2013）に活用されているなど本プロジェクトの上位目標も達成されつつあり、本プロジェクトの妥当性は高い。

(3) アプローチの妥当性

本プロジェクトにおいては、C/P の基礎的政府統計能力の向上を目的としているため、成果品の完成に重点を置く一部ドナーとは異なり、C/P への助言とキャパシティ・デベロップメントに重点を置き、カンボジア側のオーナーシップを尊重するアプローチとなっている。NIS 主催での各種会議（NCC、CTC など）の開催、一部ノンプロジェクト無償資金協力見返り資金による一部調査員手当の拠出等、実施機関である NIS のオーナーシップを確保しながら人口センサス実施が行われた。

5-2 有効性

主に 2008 年人口センサスの実施支援を通じ、統計調査の各プロセス、すなわち企画・集計処理・分析・提供・利用が基本的にできるようになることが本プロジェクトのプロジェクト目標である。プロジェクト終了時までには、設定された成果はすべて達成できる見込みであり、プロジェクト目

標に到達できると判断され、本プロジェクトの有効性は非常に高い。

(1) プロジェクト目標の達成見込み

今次評価調査において、NIS、州計画局、関係省庁統計担当部局職員を対象に能力評価を実施したが、評価結果の平均値をプロジェクト開始時点の能力評価結果平均値と比較した結果、NIS 職員の能力評価の平均値は関係部局すべてにおいて上昇し⁶、州計画局及び関係省庁統計部局の統計情報利用に関する能力評価の平均値も向上していることが確認された。2008 年人口センサスについていえば、調査区設定、調査実施、集計及びデータの審査は当初の予定通りのスケジュールで作業を終了させることができ、速報・確報結果ともに予定した期日に公表できる予定である（成果 1、成果 2、成果 3）。得られた結果についてはさまざまな視点から分析され、刊行物が 37 種類、CD が 29 種類、統計地図が 4 種類、さらに今回はセンサスアトラスについても作成、提供される予定となっている（成果 5）。これら一連の手続きは、マニュアルや報告書として記録、集積され、次回調査時まで本プロジェクトで得られた技術・知識が散逸しないよう工夫されている（成果 9）。（詳細については付属資料 6 を参照）

また 2008 年人口センサスの実施支援を通じて育成された指導員の数は 7,104 人であるが、2008 年人口センサスはカンボジアで初めて全戸数を対象に行われた調査であるにもかかわらず、カンボジアが前回実施した 1998 年人口センサス（全戸数を対象にしていない）の時の指導員数（8,354 人）よりも少ない人数で効率良く調査を実施できたという点は特筆すべき点であり、各指導員の能力が本プロジェクトの実施を通じ、向上した結果であるといえる。

5-3 効率性

日本側投入（専門家、供与機材）及びカンボジア側投入（C/P、活動予算）の質、量、投入タイミングは適切であったといえる。当初想定に比べ予算が増加したのは、プロジェクト効果をより拡充させるためであり、プロジェクトは効率的に運営されてきたといえる。

(1) 日本側投入

政府統計（特に人口センサス）においては、調査の計画、実施、集計、分析、結果提供の各段階において、専門家に求められる技術・知識が異なるため、多くの専門家人材の関与が必要であるが、本プロジェクトでは短期間のシャトル型で専門家を派遣しているため、各実施段階に必要とされる分野の専門家人材を適時派遣することができ、経費的な観点からみても効果的に投入が行われた。専門家不在時も、必要に応じ電子メールなどを用いて日本から助言・指導を行う体制が取られており、作業進捗上 NIS にとって不都合は生じておらず、むしろ NIS が習得技術・知識を用いて自主的に活動を進めることを促進し、オーナーシップの向上につながっている側面も確認された。

また UNFPA も人口センサス実施を支援していたが、専門家派遣時期、業務内容に関する

6 例) 人口センサスに関する評価結果：Management (3.89→4.52), Planning Monitoring (3.92→4.58), Assistant Planning / Data Processing / Cartography (3.20→3.90), Support Staff Planning / Data Processing / Cartography (3.61→4.28), Data Entry Supervisor (3.70→4.40), Editing / coding and Data Entry (3.14→3.71), Computer Editing, Programming, Tabulation (3.20→4.10)

詳細は付属資料 6 を参照

調整を JICA、UNFPA 間で行っており、全体としてプロジェクト活動に一貫性が保たれるよう配慮した。

機材供与は、プリンター、サーバー、ネットワーク関連の機材が中心であったが、短期間のうちに大量の情報を処理し、印刷を行う必要がある、政府統計調査において処理速度が速い機器を使用することで、各工程に要する期間の短縮につながり、短期間で速報・確報結果を報告することができた。統計情報は、時期を逸せず提供することでその利用価値が高まるものであり、結果として効率的な事業実施に大きく貢献したものと判断できる。

(2) カンボジア側投入

カンボジア政府のオーナーシップにより、人口センサスの調査員手当てなどに日本のノンプロジェクト無償資金協力見返り資金が活用されており、技術協力プロジェクトの活動を補強する形で連携が効果的に行われ、プロジェクト目標の達成に貢献した。またカンボジア側は人口センサス及びその他統計活動実施のために 30 台の車両の提供、さらに NIS の年間予算に匹敵する人口センサス実施費用の 10%を負担するなど、カンボジア初の全戸調査である 2008 年人口センサス実施に向け、相応の負担を行ったといえる。

(3) 当初想定からの予算増加

プロジェクトコストは、協力開始前の想定コストと比較して増加したが、人口センサスの分析結果レポートの種類拡充や、人材育成のための研修の拡充（2011 年に実施が予定されている経済センサス試験調査への支援を含む）を行った結果によるものであり、NIS、州計画局、関係省庁統計担当部局の能力向上、及び NIS が提供する統計情報の充実に結びついており、プロジェクト目標、上位目標の達成のうえで、経費は効果的に使用されたといえる。

5-4 インパクト

地方へのインパクトは現時点ではまだ限定的であるものの、中央省庁レベルでは本プロジェクト成果が政策立案やモニタリングに利用されるなど、上位目標が達成される見込みは高く、本プロジェクトのインパクトは高い。

(1) 中央省庁レベルへのインパクト

中央省庁レベルでは、既に高いインパクトが出始めていることが確認できた。NIS がプロジェクトを通じて作成した人口センサス、事業所リスティング結果は、今回聞き取りを行った女性省や労働省では既に政策の立案やモニタリングに活用されており、統計情報の有用性についての認識が高まっている。加えて、2009～2013 年のカンボジア国家戦略開発計画 (National Strategic Development Plan: NSDP) やカンボジアのミレニアム開発目標 (Millennium Development Goals: MDGs) モニタリングにも人口センサス結果が利用されており、NIS が果たす政府統計情報提供という役割はより一層高まるといえ、上位目標の達成が見込まれる。人口センサスについてはテーマ別の詳細分析レポートが続々と作成されており、これによって、中央省庁の政策立案への貢献度は一層高まることが期待される。

(2) 州政府以下レベルへのインパクト

NIS の予算・人員体制による制約もあり、州政府以下の行政単位における人口センサスなどの結果分析は詳細には行われておらず、州政府以下の行政機構において政策の立案やモニタリングに活用できる情報は十分に提供できていないため、州政府以下のレベルにおけるインパクトは今次調査のヒアリングではまだ限定的であった。カンボジアが推進する地方分権化において、州政府の能力強化は重要な課題であるが、特に州政府が独自に客観的データに基づいて施策を立案・モニタリングしていく能力を高めることが必要になると考えられ、そのためにも、州計画局の組織・人員体制の強化を図り、州計画局が独自に結果分析、提供を行えるような体制を構築することが今後の課題の1つであると思われる。将来、州以下の行政単位における結果分析と提供が十分に行えるようになれば、インパクトはさらに高まることが期待される。

5-5 自立発展性

NIS は、自立的な発展に向けて財政、組織、人事等各方面での強化が順調に図られてきているといえ、今後の自立発展性は高い。

(1) 財政

プロジェクト実施期間を通じて NIS の予算は増加傾向にあり、プロジェクト終了後の予算配布は国家政府財政及びマクロ経済動向次第であるが、高い優先度が置かれることが見込まれる。

(2) 組織

NIS はカンボジアの統計法に基づき政府統計実施機関として位置づけられているが、2009年に組織改編を行い、新たに国民経済計算 (National Account)、統計基準分析、情報通信技術 (ICT) の各部門を設置しており、政府統計活動に必要な組織面は強化されてきている。

(3) 人事

NIS における離職率は低いため、本プロジェクトで能力強化を行った C/P についてもほぼ全員が引き続き NIS で勤務することが見込まれ、今回移転された技術・知識が散逸する可能性は低い。また本プロジェクトでは統計調査実施に係る技術・知識の保管、維持にも重点が置かれており、人口センサスなどの実施各段階のマニュアルや重要事例も整備、保管に係る留意点についても NIS に技術移転したため、プロジェクトで移転された技術は今後も活用が期待できるほか、今後 NIS に加わる人材に対しても育成できる体制が整備できつつあるといえる。

(4) 機材整備

NIS が保有する資機材はインベントリーに登録され、NIS が統計調査を実施する都度にメンテナンス経費は確保されており、維持管理体制も強化されている。

評価5項目に基づく設問の回答結果については付属資料7を参照。

第6章 提言と教訓

6-1 提言

2008年人口センサス結果の有用性が、計画省や国家開発委員会を含めた関連省庁・機関レベル、及び州・郡・コミュニケーションレベルにおいて理解されるためには、JICA または UNFPA の支援により作成された人口センサス結果についての詳細分析レポートの出版と普及を促進することが必要である。また、継続的な統計調査の実施と能力開発を行うため、2013年の中間年人口調査を含めたフォローアップ活動を州・郡・コミュニケーションレベルで行うことが必要である。

上記の普及とフォローアップ活動を通じ、2008年人口センサスに関する包括的かつ網羅的なデータが入手できるようになることで、政府統計調査の重要性がカンボジア政府により一層認識されるようになり、NIS が実施する統計調査や研修、保有機材の拡充の優先度が高まり、NIS の継続的な人材・組織機能強化が確保されるであろう。

すべての州計画局に対して、必要な人的能力やコンピューターなどの設備を整えれば人口センサスの生データを州・郡・コミュニケーションレベルで利用・分析することが可能になる。開発計画立案、モニタリング、評価、セクター別のデータ収集、地方自治体の予算管理などは現在より信頼のおける一貫性のある効率的な方法に統合されることが期待される。

6-2 教訓

本プロジェクトは、カンボジアが長い内戦から立ち直って以来、事実上初めてのカンボジア政府主導による人口センサス（国勢調査）実施を支援するとともに、全く初めての経済センサス実施の準備を支援するものであった。首相以下カンボジア政府の強い政治的コミットメントの下、実施機関である NIS のオーナーシップが確保され、日本及びインドネシアでの幅広い専門的かつ実務的知見・経験をもった官民の JICA 専門家が、NIS 職員に寄り添う形で彼らの希望と意思を尊重しつつ、（代替するのではなく）まさに「協同」事業として進めてきた。日本側の官民専門家がそれぞれの強みを有機的に発揮して C/P を指導し、シャトルという形式のお蔭で、専門家不在中に NIS 側でその時々やるべきことを達成してもらうこともできた。結果的に、人口センサスも経済センサスの準備も、国際的にみて決して遜色のない水準で実現され、センサスの意義・重要性が政府関係者だけでなく、広く一般国民にも認識されたと判断できる。人口センサスによって全数が正確に把握されたため、カンボジアにおける（援助ドナーによるものも含め）統計調査・研究の精度が飛躍的に向上すると考えられ、続く経済センサスへの期待はますます高い。また、能力開発の観点からみても、プロジェクト前後で NIS 職員等の能力は大幅に改善しており、次の人口センサスは（少なくとも技術面では）自力で実施できると思われる。このように、本プロジェクトは経済的・社会的飛躍を遂げようとしているカンボジアにとって、最も基礎的・戦略的な分野に対する効率的・効果的に取り組んだ日本の知見による技術協力であり、先方の並々ならぬオーナーシップを最大限活用した1つの理想形を示したモデルといえよう。同時に、日本の経験だけでなく、JICA が長年協力してきた「インドネシア統計分野での教訓」がきめ細かく踏まえられている点も忘れてはなるまい。

本プロジェクトは以上のように大成功を収めたが、一層のインパクトや自立発展性の確保をめざすうえで課題がないわけではない。第一に、センサスは10年に一度行われるのみであるので、マニュアル整備などさまざまな方策を講じたものの、せっかく NIS に蓄積された知見が次回まで

に劣化してしまうおそれがある。人口センサスと経済センサスとは共通点があるものの根本的には異なった作業であり、経済センサス実施で代替することができないため、何らかの形で人口センサスの知見を維持する対策が必要になる。具体的には「中間年人口（サンプル）調査」の実施支援が求められよう。第二に、NIS の所属する計画省の州レベル出先機関職員は、人口センサス実施過程で新たな経験を積んだ（各種研修にも参加した）わけだが、悉皆的に集められたデータを州以下の地方レベル単位で集計・分析する機会とは与えられておらず、そのような体制にもなっていない。結果として、州以下の地方単位では、中央の計画省ライン、セクター官庁ライン、財務経済省や内務省ラインでのデータ収集・計画立案・予算策定が、お互いに十分な調整なく、かつ人口センサスの（生）データを利用することなく行われている。他方で、中央 NIS が州以下の地方単位ごとすべてのデータを集計・分析して地方に提供するのは、インドネシアなどの経験からも非現実的である。したがって、「計画省州レベルの体制・能力を強化」することによってはじめてセンサス結果が地方での計画・予算・行政に活かされる効果を生むことになる。人口センサスに係る以上の2点を本プロジェクトの（経済センサスの実施を主眼とするが）後続事業において勘案・対応することが望ましく、加えて経済センサスについても同様の対応（中間年調査、地方強化）が求められる。

第三に、人口センサスの結果が計画省以外の関係省庁において、その政策立案・実施のために十分活用される必要がある。センサスに基づく「分野別の分析報告書」は、その約半分が NIS 職員と JICA 専門家の協同作業によって、残り約半分が NIS 職員と UNFPA 専門家によって作成されている途中で、日本側担当分は本プロジェクト終了時までには完成する予定である。これらはそれぞれの担当省庁に提出され（調査項目や内容については各省庁の要望をあらかじめ聞いており、彼らの協力も得た。特に、女性省を C/P とする JICA 支援プロジェクトとは、綿密な連携が図られている）、大いに利用される見込みである。ここから先は関係省庁の責任・権限であり、本プロジェクトの手を離れるものと考えられる。ただ、上記第二の点への対応が充実すれば、州以下の地方レベルで、センサス結果・データと各分野のニーズ把握・分析とが緊密に結びつき（上記分野別分析報告書はその手本となる）、地方行政においてのみならず、それらの積み上げとしての国レベルで、センサスなど調査・計画・各分野・予算の整合性確保や行政の効率化が図られるものと期待される。

以上のような方策が採られれば、人口及び経済センサスのインパクトとして、「データやエビデンス（証拠）に基づく計画・予算・行政とそのモニタリング・評価」が可能となり、その成果がセンサスを含む統計調査分析の重要性を広く知らしめることになり、NIS のステータスを上げ、その予算・人材・組織等自立発展性を強化することにつながるであろう。その意味で、後続プロジェクトの実施と JICA の支援によって、カンボジアの人口及び経済センサスについては目処をつけることができるはずである。あわせて、後続プロジェクトにおける地方展開にあたっては、JICA のカンボジア地方行政に係る他事業との連携・相乗効果も望まれる。また、ここに述べた本プロジェクトの課題とその対策は、JICA の他プロジェクトにとっても教訓となるであろう。

付 属 資 料

1. 調査日程
2. カウンターパート・リスト
3. 供与機材リスト
4. 日本人専門家派遣期間
5. 活動の進捗状況
6. 上位目標、プロジェクト目標、成果の達成状況
7. 評価グリッド
8. 作成技術指導資料一覧表
9. 終了時評価調査 M/M
10. PDM (改訂版)

1. 調査日程

Date	Time	Activity	Evaluation objective	Consultant Member	Venue
14 Feb 2010	Arrival to Phnom Penh of evaluation mission team				
15-Feb 2010	08:00 10:00	- Participate in the Ceremony of Announcement of the Provincial Census Committee for EC 2011			- Chaktomuk Theater Hall
	10:00 11:00	- Interview with JICA Experts	- Activities and achievements of the project, phase II	<u>JICA side:</u> - JICA Evaluation Team - Mr. Fumihiko Nishi - JICA Expert	- Meeting Room, First Floor, New Building, NIS
	11:30 12:00	Courtesy call to Embassy of Japan		<u>EOJ side</u> - Mr. Masafumi Kuroki (Ambassador) - Mr. Junji Nakatani (2 nd Sec.) <u>JICA side:</u> - JICA Evaluation Team - Mr. Fumihiko Nishi - Ms. Terada	
	14:00 16:00	JCC (5 th Joint Coordinating Committee)	- Progress Report of 2008 Population Census in 2009FY - Progress Report of 2009 Establishment Listing in 2009FY - Progress Report of Project Activities	<u>NIS side:</u> - H.E. San Sy Than (DG), NIS - H.E. Mrs. Hang Lina, Deputy Director General (DDG) - Mr. Has Bunton, DDG - Mr. Hor Darith, DDG - Meng Kimhor - Mr. Khin Sovorlak, DDG - Mr. Mich Kanthul, Director of Economic Statistics Department - Mr. They Kheam, Director of Census and Survey Department - Mr. Saint Lundy, Director of ICT Department <u>Observers:</u> - EMIS, MOEYS - CDC - MOP <u>JICA side:</u> - JICA Evaluation Team - Mr. Fumihiko Nishi, Chief Advisor, JICA Expert	- Meeting Room, First Floor, New Building, NIS
	16:00 17:00	- Interview with Population Census Department	- Implementation of Population Census 2008 (Pop Census 2008) - Final Results of Population Census 2008	<u>NIS side:</u> - H.E. Mrs. Hang Lina, Deputy Director General (DDG), NIS - Mr. They Kheam, Director of Census and Surveys Department <u>JICA side:</u> - JICA Evaluation Team - Mr. Fumihiko Nishi, Chief Advisor, JICA Expert	- Meeting Room, First Floor, New Building, NIS
	17:00 18:00	- Interview with Economic Statistics Department	- Evaluation on the implementation of Establishment Listing 2009 (EL2009) - Results of EL 2009	<u>NIS side:</u> - Mr. Hor Darith, DDG - Mr. Khin Sovorlak, DDG - Mr. Mich Kanthul, Director of Economic Statistics Department <u>JICA side:</u> - JICA Evaluation Team - Mr. Fumihiko Nishi	- Meeting Room, First Floor, New Building, NIS

16-Feb 2010	11:30 12:00	- Interview with ICT and Economic Statistics Department	- Data processing for EL 2009	<u>NIS side:</u> - Mr. Saint Lundy, ICT Director Department - Mr. Sam Sok Sotheavuth, Deputy Director of ICT Department - Mr. Try Socheat, Deputy Director of Economic Statistics Department <u>JICA side:</u> - JICA Evaluation Team - Mr. Fumihiko Nishi	- Meeting Room, First Floor, New Building, NIS
	14:30 16:00	- Interview with SIDA Experts to NIS	- The cooperation with EL 2009 - Others	<u>SIDA side</u> - Ms Birotta Mauufelf, Chief Advisor <u>JICA side:</u> - JICA Evaluation Team - Mr. Fumihiko Nishi	- Meeting Room, First Floor, Building C, NIS
	16:00 17:30	- Organizing Data		<u>JICA side:</u> - JICA Evaluation Team	- Meeting Room, First Floor, New Building, NIS

17-Feb 2010	09:30 11:00	- Interview with Ministry of Women's Affairs (MoWA)	- The use of Results of Pop Census 2008 - The use of Results of EL 2009	<u>MoWA side</u> - Director and Deputy Directors of Planning and Statistics and Related Department of MoWA - Statistics Bureau Chief of MoWA <u>JICA side:</u> - JICA Evaluation Team - Mr. Fumihiko Nishi, Chief Advisor, JICA Expert	- Planning and Statistics Department, MoWA
	11:00 12:00	Organizing Data		<u>JICA side:</u> - JICA Evaluation Team	- Meeting Room, First Floor, New Building, NIS
	14:30 16:00	- Interview with Ministry of Labor and Vocational Training (MLVT)	- The use of Results of Pop Census 2008 - The use of Results of EL 2009	<u>MLMUC side</u> - Director, Deputy Directors and Bureau Chiefs Planning and Statistics and Related Department <u>JICA side:</u> - JICA Evaluation Team - Mr. Fumihiko Nishi, Chief Advisor, JICA Expert	- At MLVT
	16:00 17:30	Organizing Data		<u>JICA side:</u> - JICA Evaluation Team	- Meeting Room, First Floor, New Building, NIS or - Optional

18-Feb 2010	07:40 10:00	Departure: Phnom Penh -Takeo			- Departure from NIS, Ministry of Planning
	10:00 11:30	- Interview with Takeo Provincial Planning Department	- Cooperation and the use of Pop Census 2008 and EL 2009 Results	<u>Department side:</u> - Director, Deputy Directors of Planning Department - Involved Bureau Chief and Staff <u>JICA side:</u> - JICA Evaluation Team - Mr. Fumihiko Nishi, Mr. Yasuo Ishida, Ms. Nao Endo	- At Takeo Provincial Planning Department
	14:00 15:00	- Interview with Takeo Provincial Department of Industry, Mines and Energy (DIME)	- The use of Results of Pop Census 2008 - The use of Results of EL 2009	<u>Provincial side:</u> - Director, Deputy Directors, Bureau Chief of Planning and Statistics, DIME - Director and one Deputy Director of Provincial Planning Department <u>JICA side:</u> - JICA Evaluation Team	- At Takeo Provincial Department of Industry, Mines, and Energy

				- Mr. Fumihiko Nishi, Mr. Yasuo Ishida. Ms. Nao Endo	
	15:00 16:00	- Interview with Takeo Provincial Department of Education, Youth and Sport	- The use of Results of Pop Census 2008 - The use of Results of EL 2009	<u>Provincial side:</u> - Director, Deputy Directors, Bureau Chief of Planning and Statistics - Director and one Deputy Director of Provincial Planning Department <u>JICA side:</u> - JICA Evaluation Team - Mr. Fumihiko Nishi, Mr. Yasuo Ishida. Ms. Nao Endo	- At Takeo Provincial Department of Commerce
	16:00 18:00	Departure: Takeo – Phnom Penh			- Departure from Takeo – Phnom Penh
19-Feb 2010	10:00 11:00	- Interview with UNDP Project (strengthening democracy and electoral process)	- The use of Results of Pop Census 2008	<u>UNDP side:</u> - Ms. Manuela Popovici <u>JICA side:</u> - JICA Evaluation Team - Mr. Fumihiko Nishi	- UNDP Project Office
	14:00 17:30	Preparation of Minutes of meetings			
20-Feb 2010	(Saturday)	- Organizing Data		<u>JICA side:</u> - JICA Evaluation Team	- Hotel
21-Feb 2010	(Sunday)	- Organizing Data		<u>JICA side:</u> - JICA Evaluation Team	- Hotel
22-Feb 2010	09:30 12:30	- Discussion on minutes with DG, Population census and Economics Statistics Department	- Minutes of Discussion of Pop Census 2008 and EL 2009	<u>NIS side:</u> - H.E. San Sy Than - H.E. Mrs. Hang Lina - Mr. Hor Darith - Mr. Khin Sovorlak - Mr. They Kheam - Mr. Mich Kanthul <u>JICA side:</u> - JICA Evaluation Team - Mr. Fumihiko Nishi	- Meeting Room, First Floor, New Building, NIS
	14:00 17:30	- Organizing Data		<u>JICA side:</u> - JICA Evaluation Team	- Meeting Room, First Floor, New Building, NIS
23-Feb 2010	09:30 11:00	- All Involved Officers, NIS	- Signing Minutes by DG	<u>NIS Side</u> - H.E. San Sy Than - H.E. Ms. Hang Lina - H.E. Mr. Seng Soeurn - H.E. Mr. Khieu Sary - Mr. Has Bunton - Mr. Hor Darith - Mr. Meng Kimhor - Mr. Khin Sovorlak - H.E. Mr. Vy Heang - Mr. They Kheam - Mr. Mich Kanthul - Mr. Saint Lundy - Mr. Lim Penh - Mr. Sin Serey Vuth - Mr. Kim Net - Mr. So Tonnere - Mr. Try Socheat and - Mr. Pen Socheat <u>JICA side:</u> - JICA Evaluation Team - Mr. Fumihiko Nishi - JICA Experts and - Mr. Youk Seng An	- Meeting Room, First Floor, New Building, NIS
	14:00 15:00	- Report to JICA Cambodia Office		<u>JICA Cambodia office side</u> - Mr. Yasujiro Suzuki - Ms. Minoru erada <u>JICA side:</u> - JICA Evaluation Team - Mr. Fumihiko Nishi	- JICA Cambodia Office

	15:30 16:30	- Visit to Embassy of Japan		<u>EOJ side</u> - Mr. Junji Nakatani <u>JICA side:</u> - JICA Evaluation Team - Mr. Fumihiko Nishi	- Embassy of Japan
	18:00	Departure: Phnom Penh - Tokyo			
24-Feb 2010	(Wed, Morning)	Arrival to Japan			

2. カウンターパート・リスト

本プロジェクトにおける肩書	氏名及びNISにおける肩書
Project Director	H.E. San Sy Than, Director General
	Mr. Hor Darith , Deputy Director General
Project Manager	Ms. Hang Lina, Deputy Director General
Other Counterparts	Mr. Has Bunton, Deputy Director General
	Mr. Seng Soeurn, Deputy Director General
	Mr. Khieu Sary, Deputy Director General
	Mr. Meng Kim Hor, Deputy Director General
	Mr. Khin Sovorlak, Deputy Director General
	Mr. Vy Heang, Director, Department of General Statistics
	Mr. Mich Kanthul, Director, Department of Economic Statistics
	Mr. They Kheam, Director, Department of Demographic Statistics Census and Survey
	Ms. Tong Chhay Rine, Deputy Director, Department of Economics Statistics
	Mr. Lim Penh, Director, Department of Statistical Standard & Analysis
	Mr. Sok Kosal, Deputy Director, Department of Demographic Statistics Census and Survey
	Mr. Saint Lundy, Director, Department of ICT
	Mr. Kim Net, Deputy Director, Department of Social Statistics
	Mr. Sok Borith, Deputy Director, Department of Demographic Statistics Census and Survey
	Mr. Try Meng Sieng, Deputy Director, Department of Demographic Statistics Census and Survey
	Mr. Sin Sereyvuth, Deputy Director, Department of Demographic Statistics Census and Survey
	Mr. Nan Sothara, Deputy Director, Department of Demographic Statistics Census & Survey
	Mr. Pen Socheat, Bureau Chief, Department of Demographic Statistics Census and Survey
	Mr. Buoy Somethea, Deputy Director, Department of “Demographic Statistics Census & Survey
	Mr. So Tonere, Deputy Director, Department of Economic Statistics
	Mr. Mak Sovichea, Deputy Director, Department of Economic Statistics

3. 供与機材リスト

(単位：円)

機材名		-2007年度		2008年度		2009年度		総計
		数量	合計	数量	合計	数量	合計	
プリンター	カラープリンター (デジタルカラー複合機)	2	2,450,427					
	白黒プリンター	6	744,746					
	コンパクトプロッター	1				1	352,197	
サーバー	サーバー機	3	1,589,408					
	KVM スイッチ	1						
	サーバー用基本ソフトウェア	3	256,955					
	クライアントライセンス	10						
	データベースソフトウェア	1	792,846					
	クライアントライセンス	10						
	SQL サーバー					1	682,615	
	ISA サーバー					1	180,467	
	Visual Studio Professional					1	201,004	
	Exchange サーバー					1	86,508	
ネットワーク関連	ファイアウォール&ルーター	1	289,340					
	スイッチングハブ (Gigabit)	3	83,444					
	スイッチングハブ (10/100)	12	165,074					
	Cisco Modular Router					1	204,003	
その他	外付けHDD	4	215,457			3	46,099	
	DVD レコーダー	2						
	LCD プロジェクター/ スクリーン	1						
	ファックス付電話機	1						
	書類整備用キャビネット	14	162,986	2	26,239	5	79,160	
アンチウィルスソフトウェア					90	259,646		
計			6,750,683		26,239		2,091,699	8,868,621

氏名	専門分野	自	至	現地派遣月(M/M)計	派遣期間												
					2007年			2008年			2009年			2010年			
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5		
高津 宏幸	審査/データベース	10/01/07	10/31/07	4.40													
		01/15/09	03/15/09														
		11/15/09	12/26/09														
早瀬 保子	統計分析	08/09/09	09/05/09	1.87													
		02/11/10	03/10/10														
鈴木 春子	分析/データベース	09/21/09	11/25/09	2.20													
		11/10/07	11/29/07														
		04/28/08	05/12/08														
		07/20/08	08/10/08														
		10/15/08	11/05/08		5.66												
		02/22/09	03/22/09														
		04/26/09	05/20/09														
		08/30/09	09/23/09														
		11/22/09	12/15/09														
		08/06/09	09/04/09		1.00												
05/19/09	06/17/09	1.90															
遠藤 尚	統計GIS1/小地域統計H	02/03/10	03/01/10	0.94													
		08/15/07	08/28/07														
大戸 隆信	事業所リステイング	12/20/09	01/02/10	0.94													
		05/09/07	06/22/07														
		07/31/07	08/29/07														
		10/14/07	12/12/07														
		02/01/08	03/16/08		11.27												
		04/27/08	06/20/08														
		08/31/08	10/19/08														
		11/15/08	12/14/08														
		02/14/09	03/08/09														
		01/16/08	03/15/08		7.00												
04/23/08	09/20/08																
栗田 貴之	人口センサス実施管理	08/26/08	11/10/08	8.67													
		11/23/08	12/24/08														
		01/24/09	03/18/09														
		04/26/09	06/27/09														
		08/31/09	10/22/09														
西山 かおり	人口センサス結果提供/業務調整	01/11/10	03/17/10	4.33													
		07/28/09	09/25/09														
		11/30/09	12/26/09														
高木 晃	業務調整	01/16/10	02/27/10	107.81													

6. 上位目標、プロジェクト目標、成果の達成状況

指標	ベースライン・データ	終了時評価時の達成状況 (2010年2月)																		
<p><上位目標> カンボジアの国家・地方の政策・計画・戦略の立案や実施のための基礎的かつ有効な統計資料が提供される。</p> <p>・NISの刊行物数及びその周期</p>	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">刊行物数</th> </tr> <tr> <td>1997-1999</td> <td>2003-2005</td> </tr> <tr> <td>17 (1998 PC)</td> <td>9 (2004 中間年 PC)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>統計調査数</td> <td>15</td> </tr> </table>	刊行物数		1997-1999	2003-2005	17 (1998 PC)	9 (2004 中間年 PC)	その他	18	統計調査数	15	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">刊行物数 (2007-2009)</th> </tr> <tr> <td>人口センサス</td> <td>37 (2008 PC)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>統計調査数</td> <td>23</td> </tr> </table>	刊行物数 (2007-2009)		人口センサス	37 (2008 PC)	その他	13	統計調査数	23
刊行物数																				
1997-1999	2003-2005																			
17 (1998 PC)	9 (2004 中間年 PC)																			
その他	18																			
統計調査数	15																			
刊行物数 (2007-2009)																				
人口センサス	37 (2008 PC)																			
その他	13																			
統計調査数	23																			
<p>・NISの刊行物の数とその販売量</p>	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">販売量</th> </tr> <tr> <td>2006</td> <td>2007</td> </tr> <tr> <td>280</td> <td>310</td> </tr> </table>	販売量		2006	2007	280	310	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">販売量</th> </tr> <tr> <td>2008</td> <td>2009</td> </tr> <tr> <td>429</td> <td>577</td> </tr> </table>	販売量		2008	2009	429	577						
販売量																				
2006	2007																			
280	310																			
販売量																				
2008	2009																			
429	577																			
<p>・NISのウェブサイトにアクセス数及び新規情報の追加</p>	<p>NIS ウェブサイトにアクセス数 (2006年) 約 60,000 件 ウェブ上の統計情報数 (2006年) 10 件</p>	<p>NIS ウェブサイトにアクセス数 (2009年) 約 190,000 件 ウェブ上の統計情報数 (2009年) 17 件</p>																		
<p><プロジェクト目標> NIS、州計画局統計部局及び関係省庁統計部局において、人口センサスまたは他の統計調査のための企画・集計処理・分析・提供・利用が基本的にできるようなる。</p> <p>・NISにおいて統計能力のある職員数</p>	<p>・2007年4月時点の人材能力評価の平均値は以下のとおり。()内は評価対象者の数。</p> <p>1. 人口センサス</p> <p>(1) Management (5) 3.89 (2) Planning Monitoring (4) 3.92 (3) Assistant Planning / Data Processing / Cartography (6) 3.20 (4) Support Staff Planning / Data Processing / Cartography (6) 3.61 (5) Data Entry Supervisor (1) 3.70 (6) Editing / Coding and Data Entry (4) 3.14 (7) Computer Editing, Programming, Tabulation (3) 3.20 評価対象者総数: 29 1998年人口センサスに直接携わった職員数: 74</p> <p>2. 事業所リステイニング</p> <p>(1) Management (1) 4.33 (2) Finance and Logistics (2) 3.73 (3) Planning (4) 3.27 (4) Manual Editing and Coding (1) 3.50 (5) Data Processing (4) 3.27 評価対象者総数: 12 全国規模の事業所リステイニングはこれまで未実施。</p> <p>*評価は主に、NISのDG, DDGおよび日本人専門家によって実施された。 *NISの職員数 283人 (2007年)。</p>	<p>・2010年2月時点の人材能力評価の平均値は以下のとおり。()内は評価対象者の数。</p> <p>1. 人口センサス</p> <p>(1) Management (5) 4.52 (2) Planning Monitoring (4) 4.58 (3) Assistant Planning / Data Processing / Cartography (6) 3.90 (4) Support Staff Planning / Data Processing / Cartography (6) 4.28 (5) Data Entry Supervisor (1) 4.40 (6) Editing / Coding and Data Entry (4) 3.71 (7) Computer Editing, Programming, Tabulation (3) 4.10 評価対象者総数: 29 2008年人口センサスに直接携わった職員数: 120</p> <p>2. 事業所リステイニング</p> <p>(1) Management (1) 4.90 (2) Finance and Logistics (2) 4.10 (3) Planning (4) 4.25 (4) Manual Editing and Coding (1) 4.54 (5) Data Processing (4) 4.29 評価対象者総数: 12 2009年事業所リステイニングに直接携わった職員数: 40</p> <p>*評価は主に、NISのDG, DDGおよび日本人専門家によって実施された。 *NISの職員数 310人 (2009年)。</p>																		

<p>・州計画局及び関係省庁の統計範囲において人口センサスの結果を活用・分析する能力のある職員数</p>	<p>＜州計画局＞ ・2007年4月時点の人材能力評価の平均値は以下のとおり。()内は評価対象者の数。 1.人口センサス(48): 3.28 2.事業所リステイニング(50): 3.34 1998年人口センサスに直接携わった職員数: 48人 全国規模の事業所リステイニングはこれまで未実施。 ＊評価は主に、NISのDDG、Directorおよび州計画局のDirectorによって実施された。 ＊州計画局の職員数 378人(2007年) ＜関係省庁＞ ・2007年4月時点の人材能力評価の平均値は以下のとおり。()内は評価対象者の数。 1.人口センサス(14): 2.43 2.事業所リステイニング(6): 2.33 1998年人口センサスに直接携わった職員数: データなし 全国規模の事業所リステイニングはこれまで未実施。 ＊評価は主に、関係省庁統計担当部局のHead、Deputy Headによって実施された。 ＜1998年人口センサス＞ 8,354人 ＜事業所リステイニング＞ 全国規模の調査は未実施</p>	<p>＜州計画局＞ ・2010年2月時点の人材能力評価の平均値は以下のとおり。()内は評価対象者の数。 1.人口センサス(48): 4.04 2.事業所リステイニング(50): 3.98 2008年人口センサスに直接携わった職員数: 72人 2009年事業所リステイニングに直接携わった職員数: 24人 ＊評価は主に、NISのDDG、Directorおよび州計画局のDirectorによって実施された。 ＊州計画局の職員数 377人(2009年) ＜関係省庁＞ ・2010年2月時点の人材能力評価の平均値は以下のとおり。()内は評価対象者の数。 1.人口センサス(14): 3.86 2.事業所リステイニング(6): 3.83 1998年人口センサスに直接携わった職員数: 70人 2009年事業所リステイニングに直接携わった職員数: 22人 ＊評価は主に、関係省庁統計担当部局のHead、Deputy Headによって実施された。 ＜2008年人口センサス＞ 7,104人(より効果的に実施) ＜2009年事業所リステイニング＞ 40人</p>	<p>＜成果1＞ 調査区設定作業が完了し、作成したVillage地図及び調査区地図の数 ・作成したVillage地図及び調査区地図を利用した統計調査数</p>	<p>＜1998年人口センサス＞ 13,339 (village 地図) 25,169 (調査区地図) ＊社会経済統計調査、中間年人口調査</p>	<p>＜2008年人口センサス＞ 14,073 (village 地図) 28,635 (調査区地図) ＊2009年社会経済統計調査、2009年事業所リステイニング、2008年栄養統計調査</p>	<table border="1"> <tr> <td>1998 人口センサス</td> <td>統計表数</td> </tr> <tr> <td>速報結果</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>確報結果</td> <td>47(国レベル) 45(州レベル) 42(郡レベル) 0(コミュニティレベル)</td> </tr> </table>	1998 人口センサス	統計表数	速報結果	3	確報結果	47(国レベル) 45(州レベル) 42(郡レベル) 0(コミュニティレベル)	<p>＜1998年人口センサス＞ 11.44 百万件</p>
1998 人口センサス	統計表数												
速報結果	3												
確報結果	47(国レベル) 45(州レベル) 42(郡レベル) 0(コミュニティレベル)												
<p>・人口センサス及び事業所リステイニングの際に作成された指導員の数</p>	<p>＜州計画局＞ ・2010年2月時点の人材能力評価の平均値は以下のとおり。()内は評価対象者の数。 1.人口センサス(48): 4.04 2.事業所リステイニング(50): 3.98 2008年人口センサスに直接携わった職員数: 72人 2009年事業所リステイニングに直接携わった職員数: 24人 ＊評価は主に、NISのDDG、Directorおよび州計画局のDirectorによって実施された。 ＊州計画局の職員数 377人(2009年) ＜関係省庁＞ ・2010年2月時点の人材能力評価の平均値は以下のとおり。()内は評価対象者の数。 1.人口センサス(14): 3.86 2.事業所リステイニング(6): 3.83 1998年人口センサスに直接携わった職員数: 70人 2009年事業所リステイニングに直接携わった職員数: 22人 ＊評価は主に、関係省庁統計担当部局のHead、Deputy Headによって実施された。 ＜2008年人口センサス＞ 7,104人(より効果的に実施) ＜2009年事業所リステイニング＞ 40人</p>	<p>＜成果2＞ 人口センサスの集計及び審査の結果、個別データが作成され、統計表が作成・公表された数</p>	<p>＜2008年人口センサス＞ 70(国レベル) 66(州レベル) 65(郡レベル) 34(コミュニティレベル)</p>	<p>＜2008年人口センサス＞ 70(国レベル) 66(州レベル) 65(郡レベル) 34(コミュニティレベル)</p>	<table border="1"> <tr> <td>2008 人口センサス</td> <td>統計表数</td> </tr> <tr> <td>速報結果</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>確報結果(予定)</td> <td>70(国レベル) 66(州レベル) 65(郡レベル) 34(コミュニティレベル)</td> </tr> </table>	2008 人口センサス	統計表数	速報結果	3	確報結果(予定)	70(国レベル) 66(州レベル) 65(郡レベル) 34(コミュニティレベル)	<p>＜2008年人口センサス＞ 13.39 百万件</p>	
2008 人口センサス	統計表数												
速報結果	3												
確報結果(予定)	70(国レベル) 66(州レベル) 65(郡レベル) 34(コミュニティレベル)												

<成果3> 人口センサスの統計表に基づき、その結果が統計的に分析され、分析結果が公表される。

・分析結果の刊行物、論文及びパンフレットの数（作成された数、公表された数）

1998 人口センサス	数
速報結果	1
確報結果	17

2008 人口センサス	数
速報結果	1
確報結果	37

<成果4> 人口センサス結果のデータベースが構築される。

・データベースに収録された統計表の件数
 ・データベースに収録された個別データの件数

<1998 年人口センサス> 13,000 件 (CD に収録)
 * 1998 年人口センサスではデータベースは構築されなかった。
 <1998 年人口センサス> 11,44 百万件 (CD に収録) .

<2008 年人口センサス> 62,000 件

<2008 年人口センサス> 13.39 百万件

<成果5> 人口センサス結果の報告書が作成され、書籍（統計地図、センサスアトラスを含む）・CD・ウェブサイトに提供される。

・刊行物、CD、ウェブサイトを、統計地図及びセンサスアトラスの数（作成された数、公表された数）

<1998 年人口センサス>
 刊行物 17 種類 : 1 Report of provisional results
 2 National reports of final results
 8 Analysis of Census results
 1 National level tables
 5 Others
 14 種類
 CD
 統計地図 1 種類
 センサスアトラス 1 種類
 スタテイツク・ウェブサイトを

<2008 年人口センサス (予定)>
 刊行物 37 種類
 1 Report of provisional results
 3 National reports of final results
 1 Provincial report of final results
 15 Analysis of Census results
 8: National level tables
 9: Provincial level tables
 Table Retrieval System
 Village Profile System
 Pop Map Application
 Bilingual Tables (25 types)
 4 種類
 (コミュニケーションレベルの人口規模、密度、増減数、増減率)
 センサスアトラス 1 種類
 ダイナミック・ウェブサイトを

CD 29 種類

統計地図

4 種類
 (コミュニケーションレベルの人口規模、密度、増減数、増減率)

センサスアトラス 1 種類
 ダイナミック・ウェブサイトを

・研修の受講者数

1998 人口センサス	セミナー数	参加者数
速報結果	1	180
確報結果	26	300 (国レベル) 1,440 (州レベル)

2008 人口センサス	セミナー数	参加者数
速報結果	2	218 (NIS, 州計画局、関係中央省庁)
確報結果	26	160 (中央省庁) 51 (計画省) 72 (州計画局) 668 (州政府) 579 (郡) 54 (NGO、ドナー) 10 (大学関係者)

・研修参加者の理解度

1998 年人口センサスでは理解度は測定されなかった。

2008 年人口センサス結果の利用に関する関係省庁、州計画局統計職員の理解度

2.59 (研修前) → 3.00 (研修後)
 * 参加者 56 人の平均値。6 点満点。

<p><成果6> 人口センサス結果の小地域統計が作成・公表される。</p> <p>・郡、コミュニティ、Village及び調査区別の小地域統計表数（作成された数、公表された数）</p> <p>・研修の受講者数</p>	<p>1998 人口センサス結果の小地域統計が作成・公表される。</p> <p>1998 人口センサス: 1 (Village レベル)</p> <table border="1" data-bbox="255 1254 343 1668"> <tr> <td>1998 人口センサス</td> <td>数</td> </tr> <tr> <td>研修コース数</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>受講者数</td> <td>0</td> </tr> </table>	1998 人口センサス	数	研修コース数	0	受講者数	0	<p>2008 人口センサス: 24 (Village レベル)</p> <table border="1" data-bbox="255 302 391 963"> <tr> <td>2008 人口センサス</td> <td>数</td> </tr> <tr> <td>研修コース数</td> <td>1: GIS (小地域統計の準備として) 3: 小地域統計</td> </tr> <tr> <td>受講者数</td> <td>10: GIS 90 (予定): 小地域統計</td> </tr> </table>	2008 人口センサス	数	研修コース数	1: GIS (小地域統計の準備として) 3: 小地域統計	受講者数	10: GIS 90 (予定): 小地域統計
1998 人口センサス	数													
研修コース数	0													
受講者数	0													
2008 人口センサス	数													
研修コース数	1: GIS (小地域統計の準備として) 3: 小地域統計													
受講者数	10: GIS 90 (予定): 小地域統計													
<p>・研修参加者の理解度</p>	<p>1998 年人口センサスでは理解度は測定されなかった。</p>	<p>・GIS 理解度。 50 ((研修前) →78 (研修後)) *参加者 10名の平均値、100点満点。 ・小地域分析についての理解度は研修実施後に測定予定。</p>												
<p><成果7> 事業所名簿が作成され、経済統計調査のサンプリングフレームとして利用される。</p> <p>・事業所名簿に収録されている事業所数</p>	<p>全国規模の事業所リステイングは未実施。</p>	<p><2009 年事業所リステイング> 376,761 事業所</p> <p>作成された事業所名簿は 2011 年経済センサスのサンプリングフレームとして利用予定。</p>												
<p><成果8> 関係者間で人口センサスに関して（調査区やセンサス結果等）共通理解が得られる。</p> <p>・ワークショップまたはセミナー開催数</p>	<p><1998 年人口センサス> 3 回</p>	<p><2008 年人口センサス> 5 回</p>												
<p><成果9> 人口センサスの各活動の手續の詳細（重要なプロセス、重要事例、マニュアル等）が準備され、集積される。</p> <p>・手續に関する詳細記録の数</p>	<p><1998 年人口センサス> 調査票様式、調査区地図、調査員マニュアル、結果報告書、業務記録等の主要な資料は保存されている。</p>	<p><2008 年人口センサス> 各活動手續の詳細は記録として集積されている。作成された資料詳細は別添 3 を参照。</p>												
<p><成果10>人口センサスに関してドナー間の調整が適切に行われる。</p> <p>・ドナー間の会合の記録</p>	<p>関連なし (UNFPAが単独実施)</p>	<p>・CTC や、必要に応じて NCC、JCC の場においてドナー間の協調が適切に行われた。 ・JCC、NCC、CTC の議事録は作成されている。</p>												

7. 評価グリッド

評価5項目	評価設問		評価設問に対する回答
	大項目	小項目	
妥当性 (非常に高い)	プロジェクト目標及び上位目標は、カンボジアの国家開発計画に合致しているか。	プロジェクト目標及び上位目標は、ターゲット・グループのニーズに合致しているか。	<ul style="list-style-type: none"> 合致している。政府の統計能力向上は、新たに策定された四辺形戦略においてより強調されており、本プロジェクトの妥当性はむしろ向上している。 2008年人口センサス結果はカ国の国家戦略開発計画（2009-2013）に活用された。 プロジェクト開始時と同様に合致している。 プロジェクト開始時と同様に合致している。 プロジェクト開始時と同様に合致している。 選定は基本的に妥当であった。NISの統計職員のキャパシティはターゲットグループとしておおよそね妥当であった。その一方で、州計画局及び関心ある中央省庁の統計部局のキャパシティは、ターゲットグループとしては一層の考慮と改善が必要であった。 プロジェクト開始時と同様に合致している。 日本人専門家は、成果品の完成に重点を置く一部ドナーとは異なり、カウンタートパートへの助言とキャパシティ・デベロップメントにより重点を置いている。 2008年人口センサスにおいてUNFPAと役割分担を行う等の協調が見られた。 2008年人口センサス結果は、SIDAが実施を支援する社会経済調査のサブプリンク・フレームムとして活用された。
		プロジェクト目標及び上位目標は、ターゲット・グループのニーズに合致しているか。	
		プロジェクト目標及び上位目標は、ターゲット・グループのニーズに合致しているか。	
		プロジェクト目標及び上位目標は、ターゲット・グループのニーズに合致しているか。	
		NIS、州計画局、関心ある中央省庁の統計職員の選定は妥当であったか	
プロジェクト目標及び上位目標は、日本の援助政策に合致しているか。	カンボジア政府の統計能力向上を日本が支援することの妥当性はどこにあるか。		
同国の政府統計改善における他ドナーとの援助協調及びプロジェクトの相乗効果が見られたか。			

評価5項目	評価設問		評価設問に対する回答
	大項目	小項目	
有効性 (非常に高い)	プロジェクト目標は達成される見込みであるか。	プロジェクトの成果は達成されたか。	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトは計画通り進捗しており、全ての成果はプロジェクト終了までに達成予定である。
	プロジェクト目標は達成される見込みであるか。	プロジェクト開始時と比べ、NIS、州計画局及び関係省庁統計部局の知識・技術・能力に向上が見られたか。	<ul style="list-style-type: none"> NIS、州計画局及び関係省庁統計部局の能力は向上した。 女性省、労働職業訓練省、教育省等中央省庁は、人口センサス及び事業所リステイング結果を政策立案目的に活用している（又は活用する予定がある）。
	プロジェクト目標は達成される見込みであるか。	プロジェクト終了までに、どの程度のNIS、州計画局統計部局及び関係省庁統計部局の職員が、人口センサスまたは他の統計調査のための企画・集計処理・分析・提供・利用が基本的にできるようになる見込みはあるか。	<ul style="list-style-type: none"> NISの能力は向上した。 州計画局の能力はフィードバック調査実施を通じて徐々に向上しているもの、計画、集計、分析、結果提供・利用については引き続き支援が必要である。 関係省庁の統計結果の利用に関する能力は向上した。女性省、労働職業訓練省、教育省等中央省庁は人口センサス及び事業所リステイング結果を政策立案目的に活用している（又は活用する予定がある）。
本プロジェクトはプロジェクト目標の達成にどのように貢献すると考えられるか。	成果が達成されたことによるプロジェクト目標への貢献が見られたか。	<ul style="list-style-type: none"> 人口センサス及び事業所リステイングの実施はNIS及び州計画局の指導員としての能力向上に寄与した。（NIS及び州計画局の職員を含む、7,064人（人口センサス）、40人（事業所リステイング）の指導員が育成された） プロジェクトで人口センサス及び事業所リステイング実施に関する主要な資料を整備、保管したことは、NIS職員の知識の維持に役立っている。 技術的に見れば、NISは次回の人口センサス及び事業所リステイングを自立的に実施することは可能である。 必要に応じて会議開催等を通じて引き続きNISが関係機関と調整を行うことが見込まれる。 NISにおける離職がまったくない訳ではないが、これまでのところ、非常に少ない。 NISの予算及び人員はプロジェクト期間を通して増加傾向にある。プロジェクト終了後の予算配分は、国の政府予算及びマクロ経済の状況によるもの、政府統計分野は高い湯運度に置かれることが見込まれる。 	
プロジェクト目標の達成を促進すると考えられる要因はあるか。	プロジェクトの以下の外部条件は、今後も満たされる見込みか。	<ul style="list-style-type: none"> NISは予備の調査員やセンサス・ツールを前もって準備するなど、人口センサス及び事業所リステイングにおいて直面したさまざまな問題に柔軟に対応してきた。 日本側のカウンタート・パートナーを活用することが、NISのオーナーシップ向上に役立っている。 広報活動により、カンボジア国民の間の人口センサス及び事業所リステイングに対する理解が促進された。 JCC等の場においてプロジェクト活動についての報告を行うことで、NISが人口センサス及び事業所リステイングの実施プロセスを再確認することに繋がっており、NISの能力強化に役立っている。 	
プロジェクト目標の達成を阻害すると考えられる要因はあるか。	プロジェクト目標の達成を阻害すると考えられる要因はあるか。	<ul style="list-style-type: none"> なし。全ての成果とプロジェクト目標は予定通り達成できる見込みである。 	

評価5項目	評価設問		評価設問に対する回答
	大項目	小項目	
効率性 (非常に高い)	投入の質、量、そしてタイミンングは適切か。	本プロジェクトはカンボジアにある既存のリソースを有効に活用しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・活用している。JICA の開発調査を通じて得られたデジタル・マップ、UNFPA や WFP により策定された GIS データといった様々なリソースを活用している。 ・適切であった。日本人専門家の専門性・能力はカンボジア側のニーズに適っていた。 ・派遣のタイミンングは、UNFPA と調整し、プロジェクト活動に一貫性が保たれるよう配慮されていた。 ・専門家の数・期間についても問題は見られていない。本プロジェクトにおいては専門家を長期間派遣するのではなく、短期専門家をシャトル型で派遣するという手法をとっていたが、日本人専門家がカンボジアにいないときであっても、カンボジア側は、習得した技術及びE-mail 等の遠距離通信を活かして、作業を継続していた。 ・適切であった。最新の PC・プリンターの供与とそれら機材の有効活用は、プロジェクトの実施促進に役立っていた。 ・大きいサイズの地図を作成する上で、供与したプロッターは役立っていた。
		<p>専門家の派遣人数、専門分野・能力、派遣時期・期間は適切であったか。</p> <p>供与機材の種類、量、供与のタイミンングは適切であったか。</p> <p>C/P の人員配置は適切であったか。</p>	
		<p>カンボジア側のプロジェクトに対する予算投入の規模・タイミンングは適切になされたか。</p> <p>プロジェクトの実際のコストは当初想定されたコストと比較して効率的であったと言えるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・適切であった。NIS はプロジェクト実施に適な知識・技術を持った職員をカウンターパーとして配置していた ・適切になされた。カンボジア側は、人口センサス及びその他統計活動の実施のために30台の車輛（各州に1輛）を提供・活用した。 ・カンボジア側は、NIS の年間総予算に匹敵する人口センサスの総コストの約 10%を負担した。 ・実際のプロジェクトコストは、約 4.3 億円であり、当初想定したコスト（3.5 億円）よりも約 0.8 億円増加したが、増加した経費は、結果分析レポートの拡充や研修の追加（経済センサス準備としての試験調査を含む）に充てられており、プロジェクト目標及び上位目標の達成を支援した。 ・初の全戸調査となった 2008 年人口センサスの実施にかかった経費は 6.3 百万米ドル（内訳：カ国政府 0.7 百万ドル、UNFPA1.5 百万ドル、ドイツ政府 1.5 百万ドル、JICA0.6 百万ドル、ノンプロ無償見返り資金 2 百万ドル）であったが、（全戸調査ではない）1998 年人口センサスにかかった経費 7 百万ドルと比較して、より効率的に実施できた。

<p>効率性 (非常に高い)</p>	<p>活動や投入を促進した要因は見られたか。</p>	<p>日本側とカンボジア側の良好な協力関係やカンボジア側のオーナーシップによる好影響は見られたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見られた。日本側及びカンボジア側は効果的かつ時宜を得た協関係構築を築いていた。 ・カンボジア政府のオーナーシップの下、プロジェクトは日本側のカウンターパート・ファンドと協働し、プロジェクトでは負担できないコストをファン드가負担するといった柔軟な活用をすることで、人口センサスの順調な実施に役立っていた。 ・事業所リステイングについては、NISは2008年プノンペン特別市で事業所リステイングを実施した経験のある者を配置し、事業所リステイングの実施期間中はNISの事業所リステイングに関わる者を社会経済調査といった他の調査に関わることを認めなかった。 ・NISは、内務省及び国土省と未定だったコミュニティ境界線の確定に向けた協議を行い、地図作成の推進に寄与した。
<p>活動や投入を阻害した要因は見られたか。</p>	<p>NIS、州計画局及び関心ある中央省庁の統計部局の権限不足、人員不足・異動、予算不足による悪影響は見られたか。</p>	<p>その他要因による好影響は見られたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人口センサス及び事業所リステイングにかかる広報活動により、国民の間に人口センサス及び事業所リステイングが認知されるようになり、回答率の向上と回答の質の向上につながっている。 ・日本側のカウンターパート・ファンド及びUNFPAにより供与されたPCは、人口センサスの集計速度の向上に貢献した。
<p>プロジェクト・マネージメントは適切であったか。</p>	<p>プロジェクト・マネージメントは適切であったか。</p>	<p>不測の事態に対する対応は十分なされていたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見られていない。NISはカンボジア統計法の下、政府統計員に関する権限・責任を有する唯一の政府機関である。 ・プロジェクトの実施にあたって、人口センサスに対する十分な予算とNISの人員が割り当てられていた。 ・NIS、SIDA、及びJICAの間で、事業所リステイングに関わるNISスタッフをSIDAが実施支援する社会経済調査に関与させないよう調整を行った。 ・5回のJCCは適切な時期に開催された。JCCの場で、プロジェクト進捗状況の確認や関係機関との調整が行われた。 ・柔軟に対応した。中間レビュー時のNISとの協議結果に基づき、PDMを修正した。

評価5項目	評価設問		評価設問に対する回答
	大項目	小項目	
インパクト (高い)	上位目標が達成される見込みはあるか。	カンボジアの国家・地方の政策・計画・戦略の立案や実施のために、基礎的かつ有効な統計資料がプロジェクト終了の3年後にどの程度提供されると考えられるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・カンボジアの社会経済開発に伴い、カンボジア中央・地方政府の統計資料に対するニーズが高くなっていることを鑑みた場合、上位目標はこれまで同様実現される見込みであると考えられる。 ・人口センサス結果は国家戦略開発計画（2009-2013）策定に活用された。 ・全てのデータ・資料は適切に維持・管理されている。 ・人口センサスの統計結果は州レベルでは提供されているが、郡、コミュニケーションレベルの詳細な統計結果は今のところ提供されていない。 ・本プロジェクトは上位目標達成に大いに貢献している。NISの統計職員の能力強化は、基礎的かつ有効な統計資料の提供のために不可欠である。 ・州計画局及び関係省庁統計部局の能力強化は政策・立案・戦略の立案や実施のために統計情報を提供する上で、同様に重要である。 ・関係省庁及び24州を対象に実施した人口センサス結果活用に関するセミナーは、NISによる統計情報提供の需要を高めることに役立った。 ・政策立案者含む利用者間の統計情報の重要性についての認識が高まることで、多くの統計情報を提供するようNISへの需要が増大することに繋がる。 ・有用な統計情報を利用者へ提供するには、統計調査を実施するために必要な予算が確保されること不可欠である。 ・人口センサス及び事業所リスティングの結果提供により、政策立案者間の統計情報の重要性についての認識が高まった。 ・プロジェクト実施期間を通じてNISの予算は増加傾向にある。プロジェクト終了後の予算配布は国家政府財政及びマクロ経済動向次第であるが、高い優先度が置かれることが見込まれる。
		カンボジアの開発計画へのインパクトは見込めるか。	
		プロジェクト目標から上位目標に至るまでの外部条件は現時点においても正しいか。	<ul style="list-style-type: none"> ・政策策定者が統計情報の重要性を認識する。 ・必要な予算が確保される。
		外部条件が満たされる可能性は高いか。	<ul style="list-style-type: none"> ・政策策定者が統計情報の重要性を認識する。 ・必要な予算が確保される。

<p>インパクト (高い)</p>	<p>予期せぬネガティブ及びポジティブな波及効果にはどのようなものが考えられるか。</p>	<p>予期せぬネガティブな波及効果が見られたか。見られたならば、それはどのような波及効果であったか。</p> <p>・本プロジェクトにおいては、予期せぬポジティブな波及効果が見られたか。見られたならば、それはどのような波及効果であったか。</p>	<p>・本プロジェクトの活動は、UNSD や UNFPA、総務省統計局のホームページで紹介されており、UN ネットワークを通じて広まっている。</p> <p>・女性省 (MOWA) は事業所リステイニングに大きな関心を示しており、これまで調査事項の設定や調査実施に積極的に関与している。</p> <p>・鉱工業・エネルギー省 (MIME) は事業所リステイニングの指導員として職員 2 名を派遣し、事業所リステイニングの実査に参加している。</p> <p>・今後他の省庁も統計利用・分析により大きな関心を示すことが期待されている。</p> <p>・女性省及び鉱工業・エネルギー省の積極的な参加を通じて、一般市民の統計に対する意識が向上することが期待される。</p> <p>・パナー、パンフレット、テレビやラジオ放送を通じて、カンボジア国民の統計に対する理解が深まり、認知も広まった。</p> <p>・なし。</p> <p>・なし。人口センサス、事業所リステイニングの結果は、性別、民族、社会的階層の違いについての理解を促し違いによる差別を防ぐことに活用されることが期待される。</p>
-----------------------	---	---	--

評価5 項目	評価設問		評価設問に対する回答
	大項目	小項目	
自立発展性 (高い)	プロジェクト終了後の政策的支援は見込めるか。	カンボジア政府は、プロジェクト終了後も中央政府・州計画局の統計能力向上に対し、引き続き高い優先順位を与えると考えられるか。	<ul style="list-style-type: none"> 考えられる。政府の統計能力向上は、カンボジアの開発課題を解決する上で不可欠であり、カンボジア政府は、カンボジア国民及びドナーに対し説明責任を果たそうとしている。政治的コミットメントも確保されており、計画省の政府内における位置づけも高まることとなろう。 与えている。NIS や州計画局の権限は、カンボジア統計法により確保されており、カンボジア政府はこれまでに必要に応じて政令を発令しており、今後も発令される予定である。 プロジェクト実施期間を通じて NIS の予算は増加傾向にある。プロジェクト終了後の予算配分は国家政府財政及びマクロ経済動向次第であるが、高い優先度が置かれることが見込まれる。 NIS における離職がまったくない訳ではないが、これまでのところ、非常に少ない。 統計調査の準備として様々な研修が実施された。 主要な研修資料は全て作成され、今後の参考のため保管されている。 人口センサス及び事業所リステイングの実施を通じ、NIS 職員の指導員としての能力は向上した。 インベントリが作成されており、資機材は適切に維持管理されている。 メンテナンスに必要な経費は、NIS が実施する統計調査経費に含まれており、統計調査の実施を通じて機材は適切に維持管理されている。 NIS は、政府統計活動の改善に向けて組織能力を向上するため組織を改編し、ICT、国民経済計算、及び統計基準分析部門を新たに設置した。 2008 年人口センサスのため、NIS は年間予算に匹敵する額の財政支出を行った。 NIS は、プロジェクト活動の円滑な実施のため、カウンタートパートの配置に関してドナーとの調整を行った。 NIS は、地図作成を円滑に進めるべく、コミュニティ境界線の確定のために内務省及び国土開発省と協議を行った。 プロジェクトが作成した資料は、今後の参照のため NIS によって保管されている。 経済センサス実施に関し、カ国政府は日本に引き続き支援を要請しており、本プロジェクトの活動を通じて移転した技術・知識はカ国側に受け入れられていると言える。
	プロジェクト終了後の政策的支援は見込めるか。	カンボジア政府は、プロジェクト終了後もNIS や州計画局に対し統計能力向上に関する法律上の権限・責任を与えているか。	
		NIS において必要な財政が確保されるか。	
		NIS において育成された人材が継続して確保されるか。	
		NIS において持続的に人材を育成する仕組みが作られているか。	
	プロジェクト終了後の財政・組織・人事面での拡充及び政策的支援は見込めるか。	NIS において資機材は適切に維持管理されているか。	
	プロジェクト終了後の政策的支援は見込めるか。	NIS の組織機能向上が見込まれるか。	
		本プロジェクトの活動においてカンボジア側のオーナーシップは見られたか。	
		プロジェクトにおいて移転された各種統計に係る技術は、カンボジア側に受け入れられているか。	

自立発展性 (高い)	社会・文化・環境面	女性、貧困層、社会的弱者への配慮不測により、持続的効果を妨げる可能性は高いか。	・なし。人口センサス及び事業所リステイニングの結果は、女性や貧困層、障害者など社会的弱者の状況改善のために役立てられることが期待されている。
	その他	政府統計能力向上の自立発展性を妨げるその他の要因はあるか。	・なし。

8. 作成技術指導資料一覧表

[2008 年人口センサス]

- Enumeration Form for the 2008 Population Census
- Enumerator's Manual for the 2008 Population Census
- Supervisor's Manual for the 2008 Population Census
- Training Guide for the 2008 Population Census
- Instructions for Cartographic Field Workers on Drawing Enumeration Area Maps
- Edit Rules for Manual Coding & Editing for the 2008 Population Census
- Guidelines for Preparing Analytical Reports, General Population Census of Cambodia 2008
- Basic Rules for Preparing Statistical Maps based on the Results of 2008 Population Census, Cambodia
- Control Tables for Compiling Bilingual Volumes
- Structure of On-line Census Database for NIS, Cambodia
- Guidelines for Editing and Compiling the Bilingual Statistical Tables of the Results of 2008 Population Census, Cambodia.
- How to Use and Analyze Statistics by EXCEL

[2009 事業所リスティング]

- Work Procedure on Submission and Receipt of Listing Form and Related Documents
- Enumeration Form for the 2009 Establishment Listing
- Enumerator's Manual for the 2009 Establishment Listing
- Work Description for Coordinator for the 2009 Establishment Listing
- Organization Chart for the 2009 Establishment Listing
- Goods for Coordinators for the 2009 Establishment Listing
- Records Storage Rules for the 2009 Establishment Listing
- Use of Establishment Listing Results
- List of Goods for Provincial Coordinators for 2009 Nation-wide Establishment Listing of Cambodia

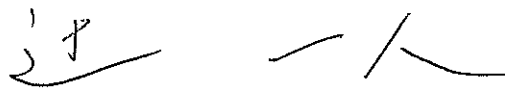
MINUTES OF MEETINGS
BETWEEN THE JAPANESE TERMINAL EVALUATION TEAM AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF
THE ROYAL GOVERNMENT OF CAMBODIA
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR THE PROJECT ON IMPROVING
OFFICIAL STATISTICS IN CAMBODIA PHASE 2

The Japanese Terminal Evaluation Team (hereinafter referred to as “the Team”) organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”), headed by Mr. Kazuto TSUJI, Executive Technical Advisor to Director General, Public Policy Department of JICA, visited the Kingdom of Cambodia from 15th February to 23rd February 2010, for the purpose of the terminal evaluation of the Project on Improving Official Statistics in Cambodia Phase 2 (hereinafter referred to as “the Project”).

During its stay in the Kingdom of Cambodia, the Team had a series of discussions with the National Institute of Statistics, Ministry of Planning (hereinafter referred to as “NIS”) and other relevant organizations, and exchanged views on the Project activities.

As a result of the study and discussions, the Team and the NIS agreed to report to their respective authorities the matters referred to in the document attached hereto.

Phnom Penh, 23rd February 2010



Mr. Kazuto TSUJI
Leader, Terminal Evaluation Team,
Japan International Cooperation Agency
Japan



H.E. Mr. San Sy Than
Director General
National Institute of Statistics,
Ministry of Planning
The Kingdom of Cambodia

THE ATTACHED DOCUMENT

**Terminal Evaluation Report on
Improving Official Statistics in Cambodia Phase 2**

February 23, 2010

**Terminal Evaluation Report on
Improving Official Statistics in Cambodia Phase 2**

Table of Contents

1. Introduction	3
1-1. Background	3
1-2 Objectives of the Terminal Evaluation	3
2. Achievements of the Project Plan.....	3
2-1. Inputs	3
2-2. Progress of Activities.....	3
2-3. Outputs	3
3. Results of the Evaluation based on Five Criteria.....	3
4. Conclusions, Recommendations and Lessons Learned.....	3
Annex 1: List of Counterpart Personnel	5
Annex 2: List of Equipment Provided by JICA.....	6
Annex 3: Assignments of the Japanese Experts	7
Annex 4: Progress of Activities	9
Annex 5: Achievements of the Project Purpose and Outputs	11
Annex 6: Evaluation Grid.....	15
Annex7: List of Manuals and Documents.....	23

1. Introduction

1-1. Background

The Project started in April 2007 for improving official statistics and assisting smooth implementation of the 2008 Population Census. The Project's cooperation period will be until the end of September 2010. Since it has approached to the end of the term of the cooperation period, JICA dispatched the Terminal Evaluation Team for the objectives written in the following 1-2.

1-2 Objectives of the Terminal Evaluation

The Objectives of the Terminal Evaluation are:

- (1) To review the achievement of the Project based on the Project Design Matrix (PDM).
- (2) To evaluate the activities and achievement in terms of five criteria, namely, Relevance, Effectiveness, Efficiency, Impact, and Sustainability.
- (3) To conclude whether the Project has achieved the purpose and realized the outputs, and to clarify issues and their countermeasures towards the end of the Project.
- (4) To share a common understanding among stakeholders regarding recommendation for further improvements of the Project and the lessons that can be applied to other similar ongoing and future JICA projects.

2. Achievements of the Project Plan

2-1. Inputs

See **Annex 1** for the list of counterpart personnel, **Annex 2** for the list of equipment and **Annex 3** for the assignments of the Japanese Experts.

2-2. Progress of Activities

See **Annex 4**. The Project has implemented the activities smoothly without significant delay as of February 2010.

2-3. Outputs

See **Annex 5**.

3. Results of the Evaluation based on Five Criteria

See **Annex 6**.

4. Conclusions, Recommendations and Lessons Learned

The mission stated as follows.

1. The Project has been quite successful so far.
2. In order for the benefits and impact of the Project on the Population Census in 2008

to be understood at relevant ministries/agencies, including the Ministry of Planning itself and the Cambodian Development Council, and at a province/district/commune level, the publication and dissemination of detailed analysis reports with JICA or UNFPA support, based on the Population Census, to be utilized by relevant ministries/agencies should be expedited and more follow-up activities for continuous practices and capacity development, including the Inter-censal Population Survey in 2013 and activities at a province/district/commune level, would be required.

3. Only with the nation-wide and far-reaching impact of the comprehensive and exhaustive data availability of the Population Census in 2008 through the above-mentioned dissemination and follow-ups, a greater priority for further resource allocation on more surveys, trainings and equipment, with proper maintenance, would be given to NIS's activities by the Cambodian government so that the sustainability of the Project and the continuous capacity development of NIS's staff and organization would be ensured.
4. When the nation-wide provincial departments of planning are equipped with necessary human capacity and resources including computers, the raw data of the Population Census in 2008 could be fully utilized and analyzed at a province/district/commune level and, also, development planning, monitoring, evaluation, sectoral data collection and even budgeting at local entities might be integrated in a more reliable, consistent and efficient manner.

Annex 1: List of Counterpart Personnel

Title for the Project	Name and Title in NIS
Project Director	H.E. San Sy Than, Director General
Project Manager	Mr. Hor Darith , Deputy Director General
Other Counterparts	Ms. Hang Lina, Deputy Director General
	Mr. Has Bunton, Deputy Director General
	Mr. Seng Soeurn, Deputy Director General
	Mr. Khieu Sary, Deputy Director General
	Mr. Meng Kim Hor, Deputy Director General
	Mr. Khin Sovorlak, Deputy Director General
	Mr. Vy Heang, Director, Department of General Statistics
	Mr. Mich Kanthul, Director, Department of Economic Statistics
	Mr. They Kheam, Director, Department of Demographic Statistics Census and Survey
	Ms. Tong Chhay Rine, Deputy Director, Department of Economics Statistics
	Mr. Lim Penh, Director, Department of Statistical Standard & Analysis
	Mr. Sok Kosal, Deputy Director, Department of Demographic Statistics Census and Survey
	Mr. Saint Lundy, Director, Department of ICT
	Mr. Kim Net, Deputy Director, Department of Social Statistics
	Mr. Sok Borith, Deputy Director, Department of Demographic Statistics Census and Survey
	Mr. Try Meng Sieng, Deputy Director, Department of Demographic Statistics Census and Survey
	Mr. Sin Sereyvuth, Deputy Director, Department of Demographic Statistics Census and Survey
	Mr. Nan Sothara, Deputy Director, Department of Demographic Statistics Census & Survey
	Mr. Pen Socheat, Bureau Chief, Department of Demographic Statistics Census and Survey
	Mr. Buoy Somethea, Deputy Director, Department of “Demographic Statistics Census & Survey
	Mr. So Tonere, Deputy Director, Department of Economic Statistics
	Mr. Mak Sovichea, Deputy Director, Department of Economic Statistics

Annex 2: List of Equipment Provided by JICA

(Currency Unit: Japanese Yen)

Item		April 2007 - March 2008		April 2008 - March 2009		April 2009 - March 2010		Grand Total
		Quantity	Total Amount	Quantity	Total Amount	Quantity	Total Amount	
Printer	MFP Color Printer Digital Color (copier/printer/scanner)	2	2,450,427					
	Black and White Printer	6	744,746					
	Compact Plotter	1				1	352,197	
Server	Rack LAN Server	3						
	KVM Switch / Rack / Display	1	1,589,408					
	Server OS	3	256,955					
	Client License	10						
	DB Software (SQL Server Standard 2003 or equivalent)	1	792,846					
	Client License	10						
	SQL Server					1	682,615	
	ISA Server					1	180,467	
	Visual Studio Professional					1	201,004	
Exchange Server					1	86,508		
Network	Firewall & Router (Cisco ASA 5510 Appliance with SW)	1	289,340					
	Gigabit Hub	3	83,444					
	10/100 Hub	12	165,074					
	Cisco Modular Router					1	204,003	
Others	External HDD	4				3	46,099	
	DVD Recorder	2	215,457					
	LCD Projector / Screen	1						
	Telephone with FAX	1						
	Document Storage Cabinet	14	162,986	2	26,239	5	79,160	
	Anti-virus Software					90	259,646	
Total			6,750,683		26,239		2,091,699	8,868,621

Calendar Year Japanese Fiscal Year (JFY)	2007			2008			2009			2010								
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
Output 7: List of establishments is developed and is used for economic statistical surveys as a sampling frame.																		
7	[Establishment listing]																	
7-1	Plan the implementation of the establishment listing																	
7-2	Conduct data processing, analysis, and dissemination of the establishment lists																	
7-3	Develop the sampling frame for economic statistical surveys in NIS																	
7-4	Conduct sample establishment surveys																	
	Prepare and implement of pre-test for the preparation of Economic Census																	
	Prepare and implement of pilot survey for the preparation of Economic Census																	
Output 8: Related personnel share the common understanding in the matter of the Population Census (EA, the Census results etc.)																		
8	[Workshops]																	
8-1	Hold the opening seminar of the Project																	
8-2	Hold the workshops on the result of EA delineation																	
8-3	Hold the workshops to disseminate the result of the Census																	
8-4	Hold the seminar to make the project widely known to the public																	
Output 9: Detailed procedures (e.g. important processes, important examples, manuals) of the Population Census activities are prepared and compiled.																		
9	[Institutional memory]																	
9-1	Develop and maintain the Census related documents on detailed procedures																	
Output 10: Necessary coordination among the related donors of the Population Census																		
10-1	Take part in the related coordination committee of the Population Census																	
10-2	Have meetings and coordinate with UNFPA etc. frequently																	
10-1	Take part in the related coordination committee of the Population Census																	

▲ First JCC ▲ Second JCC ▲ Third JCC ▲ Fourth JCC ▲ Fifth JCC
 △ Mid-term Review △ Terminal Evaluation

Annex 5: Achievements of the Project Purpose and Outputs

Indicators	Baseline Data	Achievements at the Terminal Evaluation (February 2010)																				
<p><Overall Goal> Basic and useful statistics will be provided for planning and implementation of several policies, plans and strategies of the Royal Government of Cambodia and its local governments.</p> <ul style="list-style-type: none"> • Number and periodicity of statistical publications released by the NIS 	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">No. of publications</th> </tr> <tr> <th>1997-1999</th> <th>2003-2005</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Population Census (PC) 17 (1998 PC)</td> <td>9 (2004 inter-census)</td> </tr> <tr> <td>Others 11</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>No. of survey conducted 11</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>	No. of publications		1997-1999	2003-2005	Population Census (PC) 17 (1998 PC)	9 (2004 inter-census)	Others 11	18	No. of survey conducted 11	15	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">No. of publications 2007-2009</th> </tr> <tr> <th>2008</th> <th>2009</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Population Census 37 (2008 PC)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Others 13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>No. of survey conducted 23</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No. of publications 2007-2009		2008	2009	Population Census 37 (2008 PC)		Others 13		No. of survey conducted 23	
No. of publications																						
1997-1999	2003-2005																					
Population Census (PC) 17 (1998 PC)	9 (2004 inter-census)																					
Others 11	18																					
No. of survey conducted 11	15																					
No. of publications 2007-2009																						
2008	2009																					
Population Census 37 (2008 PC)																						
Others 13																						
No. of survey conducted 23																						
<ul style="list-style-type: none"> • Number and sales quantity of statistical publications 	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">Sales of quantity</th> </tr> <tr> <th>2006</th> <th>2007</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>280</td> <td>310</td> </tr> </tbody> </table>	Sales of quantity		2006	2007	280	310	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">Sales of quantity</th> </tr> <tr> <th>2008</th> <th>2009</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>429</td> <td>577</td> </tr> </tbody> </table>	Sales of quantity		2008	2009	429	577								
Sales of quantity																						
2006	2007																					
280	310																					
Sales of quantity																						
2008	2009																					
429	577																					
<ul style="list-style-type: none"> • Number of access and number of statistical documents newly updated to the NIS website. 	<p>Total number of access to NIS website in 2006: 60,000 Number of statistical documents on website in 2006: 10</p>	<p>Total number of access to NIS website in 2009: 190,000 Number of statistical documents on website in 2009: 17</p>																				
<p><Project Purpose> The statistical staff in NIS, provinces, and line ministries concerned will be able to conduct planning, data processing, analysis, dissemination, and use of the Population Census or related surveys basically.</p> <ul style="list-style-type: none"> * Number of capable statistical staff in the NIS 	<p>* Average scores of evaluation of staff capacity as of April 2007 are the following:</p> <p>1. Population Census. Number of staff is in ().</p> <p>(1) Management (5) 3.89 (2) Planning monitoring (4) 3.92 (3) Assistant Planning / Data Processing / Cartography (6) 3.20 (4) Support Staff Planning / Data Processing / Cartography (6) 3.61 (5) Data Entry Supervisor (1) 3.70 (6) Editing / coding and Data Entry (4) 3.14 (7) Computer Editing, Programming, Tabulation (3) 3.20 Total number of staff assessed: 29 Number of staff directly related to 1998 Population Census: 74</p> <p>2. Establishment Listing. Number of staff is in ().</p> <p>(1) Management (1) 4.33 (2) Finance and Logistics (2) 3.73 (3) Planning (4) 3.27 (4) Manual Editing and Coding (1) 3.50 (5) Data Processing (4) 3.27 Total number of staff assessed: 12 Cambodia has never conducted the Nation-wide Establishment Listing:</p> <p>* Evaluation was mainly done by DG, DDGs of NIS and Japanese Experts. * Total number of staff in NIS: 283 (2007).</p>	<p>* Average scores of evaluation of staff as of February 2010 are the following:</p> <p>1. Population Census. Number of staff is in ().</p> <p>(1) Management (5) 4.52 (2) Planning monitoring (4) 4.58 (3) Assistant Planning / Data Processing / Cartography (6) 3.90 (4) Support Staff Planning / Data Processing / Cartography (6) 4.28 (5) Data Entry Supervisor (1) 4.40 (6) Editing / Coding and Data Entry (4) 3.71 (7) Computer Editing, Programming, Tabulation (3) 4.10 Total number of staff assessed: 29 Number of staff directly related to 2008 Population Census: 120</p> <p>2. Establishment Listing. Number of staffs in ().</p> <p>(1) Management (1) 4.90 (2) Finance and Logistics (2) 4.10 (3) Planning (4) 4.25 (4) Manual Editing and Coding (1) 4.54 (5) Data Processing (4) 4.29 Total number of staff assessed: 12 Number of staff directly related to 2009 Establishment Listing: 40</p> <p>* Evaluation was mainly done by DG, DDGs of NIS and Japanese Experts. * Total number of staffs in NIS: 310 (2009)</p>																				

<p>*Number of statistical staff capable of using and analyzing the Census results in provinces, and line ministries concerned</p>	<p><Provincial planning departments> • Average scores of evaluation of staff as of April 2007 are the following. Number of staff is in (): 1. Population Census (48): 3.28 2. Establishment Listing (50): 3.34 Number of staff directly related to 1998 Population Census: 48 Cambodia has never conducted the Nation-wide Establishment Listing. *Evaluation was mainly done by related DDGs and Directors of NIS, and Directors of provincial planning departments. *Total number of staffs in provincial planning departments as of 2007 was 378. <Line ministries concerned> • Average scores of evaluation of staff as of April 2007 are the following. Number of staff is in (): 1. Population Census (): ? 2. Establishment Listing (): ? Number of staff related to utilize the results of 1998 Population Census: N/A Cambodia has never conducted the Nation-wide Establishment Listing. *Evaluation was done by Head and deputy head of Statistics Department of line ministries concerned.</p>	<p><Provincial planning departments> • Average scores of evaluation of staff as of February 2010 are the following. Number of staff is in (): 1. Population Census (48): 4.04 2. Establishment Listing (50): 3.98 Number of staff directly related to 2008 Population Census: 72 Number of staff directly related to 2009 Establishment Listing: 24 *Evaluation was mainly done by related DDGs and Directors of NIS, and Directors of provincial planning departments. *Total number of staff in provincial planning departments as of 2009 was 377. <Line ministries concerned> • Average scores of evaluation of staff as of April 2007 are the following. Number of staff is in (): 1. Population Census (): ? 2. Establishment Listing (): ? Number of staff related to utilize the results of 2008 Population Census: 70 Number of staff related to utilize the results of 2009 Establishment Listing: 22 *Evaluation was done by Head and deputy head of Statistics Department of line ministries concerned. <2008 Population Census> 7,104 trainers (more efficient) <2009 Establishment Listing> 40 trainers</p>												
<p>* Number of trainers trained for the Population Census and Establishment Listing</p>	<p><1998 Population Census> 8,354 trainers < Establishment Listing> None</p>	<p><2008 Population Census> 7,104 trainers (more efficient) <2009 Establishment Listing> 40 trainers</p>												
<p><Output 1> Delineation of EA (Enumeration Areas) is completed. The results of the delineation of EA are used for the enumeration of the Population Census and prepared for other statistical surveys. *Number of village maps and EA maps *Number of statistical surveys in which village maps, EA maps and updated village frame are prepared</p>	<p><1998 Population Census> 13,339 village maps 25,169 EA maps <1998 Population Census> Number of surveys: 2 *Socio-economic Statistical Survey and Inter-census Population Survey.</p>	<p><2008 Population Census> 14,073 village maps 28,635 EA maps <2008 Population Census> Number of surveys: 3 *2009 Socio-economic Statistical Survey, 2009 Establishment Listing and 2008 Anthropometric Survey.</p>												
<p><Output 2> As the output of the data processing and scrutiny of the Population Census, statistical tables as well as micro-data are prepared. And the statistical tables are released. *Number of statistical tables (tabulated and/or released)</p>	<table border="1" data-bbox="1101 985 1260 1680"> <tr> <td>1998 Population Census</td> <td>Number</td> </tr> <tr> <td>Provisional results</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>Final results</td> <td>47 (national) 45 (provincial) 42 (district) 0 (commune)</td> </tr> </table>	1998 Population Census	Number	Provisional results	3	Final results	47 (national) 45 (provincial) 42 (district) 0 (commune)	<table border="1" data-bbox="1101 224 1260 963"> <tr> <td>2008 Population Census</td> <td>Number</td> </tr> <tr> <td>Provisional results</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>Final results (expected)</td> <td>70 (national) 66 (provincial) 65 (district) 34 (commune)</td> </tr> </table>	2008 Population Census	Number	Provisional results	3	Final results (expected)	70 (national) 66 (provincial) 65 (district) 34 (commune)
1998 Population Census	Number													
Provisional results	3													
Final results	47 (national) 45 (provincial) 42 (district) 0 (commune)													
2008 Population Census	Number													
Provisional results	3													
Final results (expected)	70 (national) 66 (provincial) 65 (district) 34 (commune)													
<p>*Number of the micro-data (processed)</p>	<p>11. 44 million in 1998 Population Census</p>	<p>13.39 million in 2008 Population Census.</p>												

<Output >- The Population Census results are analyzed statistically. The results of the analysis are released.

*Number of the publications, papers, and pamphlets on analysis (tabulated and/or released)

1998 Population Census	Number
Provisional results	1
Final results	17

2008 Population Census	Number
Provisional results	1
Final results	37

<Output >- Database of the Population Census results is developed.

*Number of the statistical tables stored into the database

Database was not developed for the 1998 Population Census. 13,000 statistical tables were stored on CD instead.

*Number of the micro-data stored into the database

11.44 million micro-data was stored on CD instead.

62,000 statistical tables of final results in the 2008 Population Census were stored into the database.

13.39 million micro-data was stored into the database.

<Output >- The Population Census results are disseminated by means of publication, CD, web site, statistical map, and census atlas.

*Number of publications, CDs, web pages, statistical maps, and census atlases (tabulated and/or released)

<1998 Population Census>

17 publications: 1 Report of provisional results
2 National reports of final results
8 Analysis of Census results
1 National level tables
5 Others

14 CDs

1 statistical map
1 census atlas
Static website

<2008 Population Census (expected number)>

37 publications 1 Report of provisional results
3 National reports of final results
1 Provincial report of final results
15 Analysis of Census results
8: National level tables

29 CDs

9: Provincial level tables
Table Retrieval System
Pop Map Application
Bilingual Tables (25 types)

4 statistical maps

(Size, density, number of increase/decrease and rate of increase/decrease of population at commune-level)
1 census atlas
Dynamic website

*Number of trainees in the training course

1998 Population Census	No. of seminars	No. of participants
Provisional results	1	180
Final results	26	300 (National level) 1,440 (Provincial level)

2008 Population Census	No. of seminars	No. of participants
Provisional results	2	218 (NIS, provincial departments, line ministries)
Final results	26	160 (line ministries) 51 (ministry of planning) 72 (provincial planning departments) 668 (provincial government) 579 (district) 54 (NGOs and donors) 10 (universities)

*Level of understanding of the trainees

This indicator was not measured in the 1998 Population Census.

Level of understanding of statistical staff in line ministries and provincial planning departments on the use of results of Population Census.

2.59 (before) → 3.00(after)

* Average of scores of test of 56 trainees. Trainees were from line ministries and provincial planning departments. Full score is 6.00.

<p><Output 6> Small area statistics are tabulated and released. *Number of small area statistical tables: by district, commune, village, and EA (tabulated and/or released) *Number of trainees in the training course</p>	<p>1998 Population Census: 1 at the village level</p> <table border="1" data-bbox="287 1243 375 1668"> <thead> <tr> <th>1998 Population Census Training courses</th> <th>Number</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Trainees</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>Trainees</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	1998 Population Census Training courses	Number	Trainees	0	Trainees	0	<p>2008 Population Census: 24 at the village level.</p> <table border="1" data-bbox="287 302 438 952"> <thead> <tr> <th>2008 Population Census Training courses</th> <th>Number</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1: GIS (as a preparation of small area statistics)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3: Small area analysis</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10 : GIS</td> <td></td> </tr> <tr> <td>90 (expected): small area analysis</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	2008 Population Census Training courses	Number	1: GIS (as a preparation of small area statistics)		3: Small area analysis		10 : GIS		90 (expected): small area analysis	
1998 Population Census Training courses	Number																	
Trainees	0																	
Trainees	0																	
2008 Population Census Training courses	Number																	
1: GIS (as a preparation of small area statistics)																		
3: Small area analysis																		
10 : GIS																		
90 (expected): small area analysis																		
<p>*Level of understanding of the trainees</p>	<p>This indicator was not measured in the 1998 Population Census.</p>	<p>*Level of understanding of the trainees on GIS. 50 (before) →78 (after) *Average scores of test of 10 trainees. Full score is 100. • Level of understanding on small area analysis will be measured after the seminar.</p>																
<p><Output 7> List of establishments is developed and is used for economic statistical surveys as a sampling frame. *Number of establishments stored into the list</p>	<p>Cambodia has never conducted the Nation-wide Establishment Listing.</p>	<p>376,761 establishments (2009 Establishment Listing) Listing of establishments was developed and can be used as a sampling frame for 2011 Economic Census.</p>																
<p><Output 8> Related Personnel share the common understanding in the matter of the Population Census (EA, the Census results, etc) *Number of workshops and seminars conducted</p>	<p>3 seminars in 1998 Population Census.</p>	<p>5 seminars in 2008 Population Census.</p>																
<p><Output 9> Detailed Procedures (e.g. important processes, important records of procedures prepared *Number of detailed records of procedures prepared</p>	<p>Records of procedures prepared: in the 1998 Population Census: questionnaire formats, EA maps, enumerators' manuals, results reports.</p>	<p>Records of procedures prepared in the 2008 Population Census. See annex 7.</p>																
<p><Output 10> Necessary coordination among the related donors *Record of meetings with the related donors</p>	<p>Not relevant.</p>	<p>• Donor coordination was made by meetings including CTC. When it was necessary, donor coordination was also discussed at NCC and JCC. • Records of meetings have been made for JCC, NCC, CTC.</p>																

Annex 6: Evaluation Grid

Evaluation Criteria	Evaluation Question		Response to questions
	Main Question	Sub-question	
Relevance (Very high)	Are both the project purpose and overall goal relevant to the Cambodian national development plan?		<ul style="list-style-type: none"> • Yes. The relevance of the Project has been increasing because the importance of improving official statistics is more emphasized in the new Rectangular Strategy. • Results of 2008 Population Census were used for Cambodia's National Strategic Development Plan (2009-2013). • Yes. It is still as consistent as it was at the beginning of the Project.
	Are both the project purpose and overall goal consistent with the needs of statistical staff in the NIS, provincial planning departments, and line ministries concerned?	Is the project purpose consistent with the needs of statistical staff in the NIS, provincial planning departments, and line ministries concerned?	<ul style="list-style-type: none"> • Yes. It is still as consistent as it was at the beginning of the Project.
	Are both the project purpose and overall goal consistent with the needs of statistical staff in the NIS, provincial planning departments, and line ministries concerned?	Is the overall goal consistent with the needs of statistical staff in the NIS, provincial planning departments, and line ministries concerned?	
	Is the strategy for achieving the project purpose and overall goal valid?		<ul style="list-style-type: none"> • Yes. It is still as valid as it was at the beginning of the Project.
	Are the criteria and process for selecting statistical staff in the NIS, provincial planning departments, and line ministries concerned justifiable?		<ul style="list-style-type: none"> • Yes. The selection criteria and process are basically justifiable. • The level of the capacity of statistical staff in the NIS is mostly appropriate as a target group, while that of provincial planning departments and line ministries concerned as a target group requires further consideration and improvement.
Are both the project purpose and overall goal relevant to the Japanese aid policy and program?		<ul style="list-style-type: none"> • Yes. It is still as relevant as it was at the beginning of the Project. 	
What is the appropriateness of the Japanese assistance for improving official statistics in Cambodia?		<ul style="list-style-type: none"> • The Japanese experts focus more on advising counterparts and their capacity development while some donors tend to focus on producing outputs. 	
Was there any synergy effect in terms with donor coordination for improving official statistics in Cambodia?		<ul style="list-style-type: none"> • Yes. The Project coordinated with UNFPA to share roles for 2008 Population Census. • Results of 2008 Population Census were utilized for sampling frame of micro-data for Socio-economic Survey supported by SIDA. 	

Evaluation Criteria	Evaluation Question		Response to questions	
	Main Question	Sub Question		
Effectiveness (Very high)	Has each output of the Project been achieved?		<ul style="list-style-type: none"> • Yes. The Project has progressed as scheduled and all outputs are likely to be achieved by the end of the Project. • Yes. The capacity of the target group has been enhanced. <ul style="list-style-type: none"> • Line ministries such as Ministry of Women's Affairs (MoWA), Ministry of Labor and Vocational Training (MLVT), and Ministry of Education (MoE) have utilized (or have plan to utilize) the results of the Population Census and Establishment Listing for their policy making. • The capacity of NIS has been strengthened. • The capacity of provincial planning departments has been gradually enhanced for field operation but still needs assistance for planning, data processing, analysis, dissemination, and use of the Population Census. • The capacity of line ministries concerned has been enhanced in terms of utilization as ministries such as MoWA, MLVT, and MoE have already utilized the results of the Population Census and Establishment Listing for their policy making. • Operations of the Population Census and Establishment Listing have helped NIS and provincial planning departments to develop the capacity as a trainer. (7,064 for Population Census and 40 for Establishment Listing were trained including staffs of NIS and provincial planning departments) • Major documents of the Population Census and Establishment Listing prepared and stored by the Project are to assist to maintain knowledge and skills of NIS staff. • It is expected that NIS will be able to conduct the Population Census and Establishment Listing next time in terms of technical capacity. • Yes. NIS is likely to continue coordinating with relevant organizations by holding necessary meetings. • It cannot be said that there is no case of turnover from NIS, but only few so far. • The budget and personnel of NIS have increased through the course of the implementation of the Project. Budgetary allocations after the Project will be dependent on the situation of the national government finance and macroeconomic circumstances, but a higher priority is expected. • NIS and the Project flexibly coped with problems and difficulties found in the Population Census and Establishment Listing. (e.g. NIS allocated extra numbers of enumerators and census tools as back-ups) • Mobilizing the Japanese Counterpart Funds has helped to enhance the ownership of NIS. • Public relations activities promoted the understanding of the Population Census and Establishment Listing among the Cambodian people. • Reporting about the Project activities at the meetings such as JCC has assisted NIS to develop capacity as NIS had to reaffirm all the processes for the Population Census and Establishment Listing. • No. All outputs and project purpose are to be achieved as scheduled. 	
	Is the project purpose likely to materialize by the end of the Project?	Has the capacity of NIS, statistical staff in provincial planning departments and line ministries concerned been enhanced compared with the beginning of the Project? To what extent is the statistical staff in NIS, provincial planning departments and line ministries concerned likely to be able to conduct planning, data processing, analysis, dissemination, and use of the Population Census and related surveys basically by the end of the Project?		
	Is it conceivable that the Project will contribute to achieving the project purpose?	Is it conceivable that the outputs of the Project will contribute to develop the capacity of the statistical staff in NIS, provincial planning departments and line ministries concerned for conducting planning, data processing, analysis, dissemination, and use of the Population Census and related surveys basically? Will the following factors be fulfilled after the end of the Project? <ul style="list-style-type: none"> • Necessary coordination with relevant organizations will be conducted by NIS • Counterparts will stay in the proper posts. • Necessary budget will be secured. 		
	What factors particularly have accelerated the achievement of the project purpose?		What factors particularly have hampered or delayed the achievement of the project purpose?	

Evaluation Criteria	Evaluation Question		Response to questions
	Main Question	Sub-question	
Efficiency (Very high)	Are the quality, quantity and timing of inputs for the Project appropriate?	Are resources which existed before the Project started in Cambodia utilized for the Project?	<ul style="list-style-type: none"> • Yes. Various existing materials were used for the Population Census. (e.g., digital mapping developed by a development study of JICA, GIS data developed by UNFPA and WFP) • Yes. Japanese experts' expertise and capacity met the needs of the Cambodian side. • Assignment timing has been coordinated with NIS and UNFPA in order to maintain the consistency of the Project activities. • No problem was found with regard to the number and duration of experts so far. The Project dispatches many short-term experts but no long-term expert. Even when Japanese experts were not in Cambodia, the Cambodian side continued implementing their tasks of the Project with knowledge and skills transferred by those experts and remote communications, if necessary. • Yes. The provision of up-to-date PC and printers and their flexible usage assisted to speed up the implementation of the Project. • The plotter was useful for making large-sized maps. • Yes. NIS assigned the C/P personnel who have appropriate knowledge and skills for implementing the Project.
		Are the number, expertise and capacity, assignment timing and duration of the Japanese expert appropriate?	<ul style="list-style-type: none"> • Yes. The Cambodian side bought 30 cars and allocated one car for each province for the implementation of the Population Census and other statistical activities. • Cambodian side allocated 10% of the total cost of the Population Census, which is almost equivalent to the annual budget of NIS. • Actual cost of the Project will be approximately 420 million yen, which is 70 million yen higher than the estimated cost of 350 million yen. The increased amount was used for additional publications and extra trainings (including pilot survey as preparation for the Economic Census) to assist to achieve the Project purpose and overall goal. • Actual cost of 2008 Population Census was 6.317 million US\$ in total. (Breakdown of total cost (unit: million US\$: Cambodian government, 0.683, UNFPA 1.464, Germany 1.549, JICA 0.651, Japanese counter-part fund 1.968). Compared with 1998 Population Census cost (7 million US\$), 2008 Population Census was carried out more cost effectively.
		Are the quantity and quality of equipment provided by the Japanese side and the timing of the provision appropriate?	<ul style="list-style-type: none"> • Yes. The Cambodian side bought 30 cars and allocated one car for each province for the implementation of the Population Census and other statistical activities. • Cambodian side allocated 10% of the total cost of the Population Census, which is almost equivalent to the annual budget of NIS. • Actual cost of the Project will be approximately 420 million yen, which is 70 million yen higher than the estimated cost of 350 million yen. The increased amount was used for additional publications and extra trainings (including pilot survey as preparation for the Economic Census) to assist to achieve the Project purpose and overall goal. • Actual cost of 2008 Population Census was 6.317 million US\$ in total. (Breakdown of total cost (unit: million US\$: Cambodian government, 0.683, UNFPA 1.464, Germany 1.549, JICA 0.651, Japanese counter-part fund 1.968). Compared with 1998 Population Census cost (7 million US\$), 2008 Population Census was carried out more cost effectively.
		Are the number, duration and capacity of C/P personnel, which are assigned by the Cambodian side, appropriate?	<ul style="list-style-type: none"> • Yes. The Cambodian side bought 30 cars and allocated one car for each province for the implementation of the Population Census and other statistical activities. • Cambodian side allocated 10% of the total cost of the Population Census, which is almost equivalent to the annual budget of NIS. • Actual cost of the Project will be approximately 420 million yen, which is 70 million yen higher than the estimated cost of 350 million yen. The increased amount was used for additional publications and extra trainings (including pilot survey as preparation for the Economic Census) to assist to achieve the Project purpose and overall goal. • Actual cost of 2008 Population Census was 6.317 million US\$ in total. (Breakdown of total cost (unit: million US\$: Cambodian government, 0.683, UNFPA 1.464, Germany 1.549, JICA 0.651, Japanese counter-part fund 1.968). Compared with 1998 Population Census cost (7 million US\$), 2008 Population Census was carried out more cost effectively.
		Is the amount and timing of the Cambodian financial contribution to the Project appropriate?	<ul style="list-style-type: none"> • Yes. The Cambodian side bought 30 cars and allocated one car for each province for the implementation of the Population Census and other statistical activities. • Cambodian side allocated 10% of the total cost of the Population Census, which is almost equivalent to the annual budget of NIS. • Actual cost of the Project will be approximately 420 million yen, which is 70 million yen higher than the estimated cost of 350 million yen. The increased amount was used for additional publications and extra trainings (including pilot survey as preparation for the Economic Census) to assist to achieve the Project purpose and overall goal. • Actual cost of 2008 Population Census was 6.317 million US\$ in total. (Breakdown of total cost (unit: million US\$: Cambodian government, 0.683, UNFPA 1.464, Germany 1.549, JICA 0.651, Japanese counter-part fund 1.968). Compared with 1998 Population Census cost (7 million US\$), 2008 Population Census was carried out more cost effectively.
		Is the actual cost of the Project efficient compared with the estimated cost?	<ul style="list-style-type: none"> • Yes. The Cambodian side bought 30 cars and allocated one car for each province for the implementation of the Population Census and other statistical activities. • Cambodian side allocated 10% of the total cost of the Population Census, which is almost equivalent to the annual budget of NIS. • Actual cost of the Project will be approximately 420 million yen, which is 70 million yen higher than the estimated cost of 350 million yen. The increased amount was used for additional publications and extra trainings (including pilot survey as preparation for the Economic Census) to assist to achieve the Project purpose and overall goal. • Actual cost of 2008 Population Census was 6.317 million US\$ in total. (Breakdown of total cost (unit: million US\$: Cambodian government, 0.683, UNFPA 1.464, Germany 1.549, JICA 0.651, Japanese counter-part fund 1.968). Compared with 1998 Population Census cost (7 million US\$), 2008 Population Census was carried out more cost effectively.

Efficiency (Very high)	<p>What factor particularly has facilitated the provision of inputs and the implementation of activities?</p>	<p>Is it conceivable that such factors as good relations between the Japanese and Cambodian sides and the ownership of the Cambodian side have facilitated the provision of inputs and the implementation of the Project?</p>	<p>Have any other factors particularly facilitated the provision of inputs and the implementation of the Project?</p>	<p>Is it conceivable that such factors as the change in the authority, budgets or personnel of NIS, provincial planning departments, and line ministries concerned have hampered or delayed the provision of inputs and the implementation of the Project?</p> <p>Were the Joint Coordination Committee (JCC) meetings held in a timely manner? Did the JCC help the management and implementation of the Project?</p>	<p>Is the project management effective, responsive and flexible?</p>
	<p>• Yes. The Japanese and Cambodian sides have coordinated in an effective and timely manner.</p> <p>• With the ownership of the Cambodian government, the Project has collaborated with the Japanese Counterpart Fund, and the flexible use of the Fund has helped to implement the Population Census smoothly because the Fund complemented the cost of activities which could not be covered by the Project.</p> <p>• For the Nation-wide Establishment Listing, NIS allocated personnel who had experienced the Establishment Listing in Phnom Penh city. NIS did not allow those personnel to conduct other surveys such as the Socio-economic Survey while implementing the Establishment Listing.</p> <p>• NIS discussed with Ministry of Interior and Ministry of Land Development to settle the commune boundary issue to facilitate map-making processes.</p>	<p>• Public relations activities of the Population Census and Establishment Listing increased recognition among the Cambodian People about those surveys and helped to increase response rates to the questionnaire and the quality of answers.</p> <p>• Computers funded by the Japanese Counterpart Fund and UNFPA were utilized to speed up the data processing of the Population Census.</p>	<p>• No. NIS is the sole authority to compile official statistics under the Statistical Law of Cambodia.</p> <p>• Enough budget for the Population Census and NIS personnel have been allocated for the implementation of the Project.</p> <p>• With coordination among NIS, SIDA and JICA, NIS core staff who were involved with the Establishment Listing were separated from Socio-economic Survey supported by SIDA.</p>	<p>• Yes. 5 JCCs have been held in a timely manner. JCCs facilitated to review the progress of the Project and to coordinate with related organizations.</p>	<p>• Yes. As a result of the discussion with NIS at the mid-term review, PDM was modified.</p> <p>• Yes. NIS and the Project flexibly coped with problems and difficulties found in the Population Census and Establishment Listing. (e.g. NIS allocated extra numbers of enumerators and census tools as back-ups)</p> <p>• The communication among the Project related personnel has been smooth and effective.</p> <p>• 12 CTCs and 3 NCCs have been held for 2008 Population Census.</p>

Evaluation Criteria	Evaluation Question		Response to Questions
	Main Question	Sub-question	
Impact (High)	Is the overall goal likely to materialize in the near future?	Is basic and useful statistics likely to be provided for planning and implementation of several policies, plans and strategies of the Royal Government of Cambodia and its local governments in three years after the completion of the Project?	<ul style="list-style-type: none"> • Yes. The overall goal is still as likely to materialize as it was at the beginning of the Project because the central and local governments' needs for statistical publications are increasing for the socio-economic development of the Kingdom of Cambodia.
		How much impact is expected on Cambodia's national development plan?	
Impact (High)	Is it conceivable that the achievement of the project purpose will lead to the accomplishment of the overall goal?	Are all the data of Population Census and other statistical surveys compiled and properly managed?	<ul style="list-style-type: none"> • Yes. All the major documents were prepared and stored properly.
		Is there any factor that would hamper or delay the achievement of the overall goal?	
Impact (High)	Is it conceivable that the achievement of the project purpose will lead to the accomplishment of the overall goal?	How much will the Project contribute to the provision of basic and useful statistics for planning and implementation of several policies, plans and strategies of the Royal Government of Cambodia and its local governments in three years after the completion of the Project?	<ul style="list-style-type: none"> • The Project will substantially contribute to the achievement of the overall goal because the capacity building of the statistical staff in NIS is essential for the provision of basic and useful statistics. • The capacity building of provincial planning departments and line ministries concerned is also important to the provision of statistics for planning and implementation of several policies, plans and strategies. • Seminars for utilization of results of the Population Census targeted to line ministries and all 24 provinces helped to increase demand for NIS to provide statistical information.
		Are the following elements still valid as important assumptions to achieve the overall goal?	
Impact (High)	Is it conceivable that the achievement of the project purpose will lead to the accomplishment of the overall goal?	Are the following likely to be fulfilled?	<ul style="list-style-type: none"> • Yes. The release of results of the Population Census and Establishment Listing has raised awareness of importance of statistical information among policy makers. • The budget of NIS has increased through the course of the implementation of the Project. Budgetary allocations after the Project will be dependent on the situation of the national government finance and macroeconomic circumstances, but a higher priority is expected.
		Policy makers will recognize the importance of statistical information.	
Impact (High)	Is it conceivable that the achievement of the project purpose will lead to the accomplishment of the overall goal?	Necessary budget will be secured.	<ul style="list-style-type: none"> • Necessary budget will be secured.
		Are the following likely to be fulfilled?	

Impact (High)	What are unintended positive or negative consequences of the Project?	Have you observed any unintended positive consequences of the Project?	<ul style="list-style-type: none"> • Project activities, shown in the webpage of UNSD and UNFPA, have been disseminated through the UN networks. • MoWA showed a great interest in the Establishment Listing so that the ministry made financial contribution and participated in preparing a questionnaire. • Ministry of Industry, Mines and Energy (MIME) participated in field operations of the Establishment Listing by dispatching supervisors. • It is expected that other ministries will develop more interests in the use and analysis of statistics. • It is expected that the public awareness of statistics will increase through the active participation of MWA and MIME. • The general publics' understanding and recognition of statistics in general has increased through banners, leaflets, TV and radio promotions. • No.
	Have you observed other unintended negative consequences of the Project?	Have you observed any negative impact due to differences in sex, race, and social class?	<ul style="list-style-type: none"> • No. To the contrary, the results of the Population Census and Establishment Listing are expected to be utilized for better understanding on differences in sex, race, and social class and for prevention of discrimination on these differences.

Evaluation Criteria	Evaluation Question		Response to the question
	Main Question	Sub-question	
Sustainability (High)	Is it expected that policy commitments to operations after the Project will be obtained or maintained?	Is the Cambodian government likely to continue placing a high priority in improving official statistics in Cambodia after the Project?	<ul style="list-style-type: none"> • Yes. The improvement of official statistics in Cambodia is indispensable for solving development challenges. The Cambodian government is trying to fulfill accountability to the Cambodian people and foreign donors. The political commitment is also expected to be assured. Accordingly, the status of the Ministry of Planning and NIS will be elevated. • Yes. They have sufficient authority as stated in the Statistical Law of Cambodia, and also the Cambodian government did and will promulgate necessary sub-decrees.
		Does NIS and provincial planning departments have sufficient authority to improve official statistics in Cambodia after the Project?	
	Is it expected that organizational enhancement, budgetary and personnel allocations will be obtained or maintained for operations after the Project?	Is NIS likely to secure enough budgets for continuing activities?	<ul style="list-style-type: none"> • Yes. The budget and personnel of NIS have increased through the course of the implementation of the Project. Budgetary allocations after the Project will be dependent on the situation of the national government finance and macroeconomic circumstances, but a higher priority is expected. • It cannot be said that there is no case of turnover from NIS, but only few so far.
		Is NIS personnel likely to remain after the Project?	<ul style="list-style-type: none"> • Various trainings are conducted as a part of preparation of statistical surveys. • All the major documents for training were prepared and stored for future references. • Through OJT on the Population Census and establishment Listing, the capacity of NIS staff as trainers has improved.
	Is it expected that technical and professional capacity will be assured after the Project?	Does NIS have system to train its staff continuously?	<ul style="list-style-type: none"> • Yes. Inventory was made, and all equipment is being properly maintained. • Maintenance fee is inclusive for statistical surveys which NIS conducts. Through operation of these surveys, equipment is properly maintained.
		Is maintenance of equipment done properly by NIS?	<ul style="list-style-type: none"> • NIS has reformed its organization and launched 3 new departments of ICT, National Accounts, and Statistical Standard and Analysis to enhance its organizational mechanism for improving its statistical activities.
	Is it expected that organizational enhancement expected in NIS?	Is organizational enhancement expected in NIS?	<ul style="list-style-type: none"> • Yes. NIS's financial contribution for 2008 Population Census was almost equivalent to its annual budget. • NIS coordinated with other donors for counterpart allocation to facilitate the Project activities. • NIS discussed with Ministry of Interior and Ministry of Land Development to settle the commune boundary issue to facilitate map-making processes.
		Has NIS showed ownership for implementation of the Project activities?	<ul style="list-style-type: none"> • Yes. All major documents prepared by the Project have been stored by NIS for future references. • Cambodian government's request to Japan for continuously supporting the Economic Census shows the fact that skills and knowledge transferred by the Project activities have been well accepted by the Cambodian side.

Sustainability (High)	Social, Cultural, Environmental aspect	Is there any possibility that sustainability of activities will be hampered due to lack of attentions to women, the poor, and the socially vulnerable? Is there any element that may hamper sustainability of improving of official statistics?	•No. To the contrary, the results of the Population Census and Establishment Listing are expected to be utilized to improve the situation of socially vulnerable people such as women, the poor, and the handicapped. •No.
	Others		

Annex 7: List of Manuals and Documents

[The 2008 Population Census]

- Enumeration Form for the 2008 Population Census
- Enumerator's Manual for the 2008 Population Census
- Supervisor's Manual for the 2008 Population Census
- Training Guide for the 2008 Population Census
- Instructions for Cartographic Field Workers on Drawing Enumeration Area Maps
- Edit Rules for Manual Coding & Editing for the 2008 Population Census
- Guidelines for Preparing Analytical Reports, General Population Census of Cambodia 2008
- Basic Rules for Preparing Statistical Maps based on the Results of 2008 Population Census, Cambodia
- Control Tables for Compiling Bilingual Volumes
- Structure of On-line Census Database for NIS, Cambodia
- Guidelines for Editing and Compiling the Bilingual Statistical Tables of the Results of 2008 Population Census, Cambodia.
- How to Use and Analyze Statistics by EXCEL

[The 2009 Establishment Listing]

- Work Procedure on Submission and Receipt of Listing Form and Related Documents
- Enumeration Form for the 2009 Establishment Listing
- Enumerator's Manual for the 2009 Establishment Listing
- Work Description for Coordinator for the 2009 Establishment Listing
- Organization Chart for the 2009 Establishment Listing
- Goods for Coordinators for the 2009 Establishment Listing
- Records Storage Rules for the 2009 Establishment Listing
- Use of Establishment Listing Results
- List of Goods for Provincial Coordinators for 2009 Nation-wide Establishment Listing of Cambodia

10. PDM (改訂版)

<p>プロジェクトタイトル：カンボジア国政府統計能力向上計画フェーズ2 プロジェクト期間：2007年4月～2010年9月（3.5年間） プロジェクトの要約</p>	<p>ターゲットグループ：NIS、州計画局及び関係省庁の統計部局職員 ターゲット地域：カンボジア全土</p>	<p>ターゲットの入手手段 外部条件</p>	<p>バージョン:PDM2 日付:2009年2月27日</p>
<p><上位目標> カンボジアの国家・地方の政策・計画・戦略の立案や実施のための基礎的かつ有効な統計資料が提供される。</p>	<p>指標 ・NISの刊行物数及びその周期 ・NISの刊行物の数とその販売量 ・NISのウェブサイトにへのアクセス数及び新規情報の追加</p>	<p>NIS NIS NIS</p>	
<p><プロジェクト目標> NIS、州計画局統計部局及び関係省庁統計部局において、人口センサスまたは他の統計調査のための企画・集計処理・分析・提供・利用が基本的に行えるようになる。</p>	<p>・NISにおいて統計能力のある職員数 ・州計画局統計部局及び関係省庁統計部局においてセンサスの結果を活用・分析する能力のある職員数 ・人口センサス及び事業所リステイニングに際して育成された指導員の数</p>	<p>NIS 及び州計画局の対象となる職員に対して、テストまたは面接を実施する。</p>	<p>・政策策定者が統計情報の重要性を認識する。 ・必要な予算が確保される。</p>
<p><成果> 1. 調査区設定作業が完了し、その成果が人口センサスの実施及びその後の各種統計に利用される。</p>	<p>・作成した Village 地図及び調査区地図の数 ・作成した Village 地図及び調査区地図を利用した統計調査数</p>	<p>NIS NIS 及び関係省庁</p>	<p>・各関係機関との必要な調整がNISによって行われる。 ・人材が定着する。 ・必要な予算が確保される。</p>
<p>2. 人口センサスの集計及び審査の結果、個別データが作成され、統計表が作成・公表される。 3. 人口センサスの統計表に基づき、その結果が統計的に分析され、分析結果が公表される。 4. 人口センサス結果のデータベースが構築される。</p>	<p>・結果表数（作成された数、公表された数） ・個別データの件数（作成された件数） ・分析結果の刊行物、論文及びパンフレットの数（作成された数、公表された数） ・データベースに収録された統計表の件数 ・データベースに収録された個別データの件数</p>	<p>NIS NIS NIS、州計画局、関係省庁 NIS NIS</p>	
<p>5. 人口センサス結果の報告書が作成され、書籍（統計地図、センサスアトラスを含む）・CD・ウェブサイトに提供される。</p>	<p>・刊行物、CD、ウェブサイト、統計地図及びセンサスアトラスの数（作成された数、公表された数） ・研修の受講者数 ・研修参加者の理解度</p>	<p>NIS、州計画局、関係省庁 NIS 小テストの実施</p>	
<p>6. 人口センサス結果の小地域統計が作成・公表される。</p>	<p>・District、Commune、Village 及び調査区別の小地域統計表数（作成された数、公表された数） ・研修の受講者数 ・研修参加者の理解度</p>	<p>NIS、州計画局、関係省庁 NIS 小テストの実施</p>	
<p>7. 事業所名簿が作成され、経済統計調査のサンプリングフレームムとして利用される。 8. 関係者間で人口センサスに関して（調査区やセンサス結果等）共通理解が得られる。</p>	<p>・事業所名簿に収録されている事業所数 ・ワークショップまたはセミナー開催数</p>	<p>NIS NIS</p>	
<p>9. 人口センサスの各活動の手の詳細（重要なプロセス、重要事例、マニュアル等）が準備され、集積される。</p>	<p>・手続に関する詳細記録の数</p>	<p>NIS</p>	
<p>10. 人口センサスに関してドナー間の調整が適切に行われる。</p>	<p>・ドナー間の会合の記録</p>	<p>NIS</p>	

＜活動＞	投 入	外部条件
【人口センサス：企画及び調査の実施】 1-1 人口センサスの企画及び調査の実施並びにUNFPAその他ドナーとの調整 1-2 人口センサスの調査区設定の実施 1-3 人口センサスの調査区の維持・管理	<日本> 専門家派遣 (8名)	・UNFPAアドバイザーが予定通り派遣される。 ・2008年の総選挙により人口センサスの日程が変動しない。
【人口センサス：集計】 2-1 NISにおける人口センサスの集計システムの構築 (UNFPAアドバイザーと共同で実施) 2-2 人口センサスの集計の実施 2-3 人口センサスの個別データの審査 2-4 人口センサスの結果表の作成及び審査	<カンボジア国> カウンターパート ・ プロジェクトディレクター ・ プロジェクトマネージャー ・ 他メンバー	
【人口センサス：分析】 3-1 人口センサス集計結果の分析 (UNFPAアドバイザーと共同で実施)	① チーフアドバイザー ② 集計/プログラミング ③ 調査区設定/統計 GIS ④ 審査/分析 ⑤ データベース/結果提供 ⑥ 小地域統計 ⑦ 事業所リステイニング ⑧ 人口センサス実施管理/業務調整	
【人口センサス：データベース】 4-1 NISにおける人口統計の統計データベースの開発 4-2 統計データベースの接続及びガイドラインの作成	研修員受入 (本邦及び第三国) ① 人口センサス (分析) ② 人口センサス (小地域統計) ③ 事業所リステイニング	
【人口センサス：結果提供】 5-1 人口センサス報告書の編集 5-2 人口センサス結果のCDの作成 5-3 人口センサス結果のウェブコンテンツの作成 5-4 人口センサス結果に基づく統計地図の作成 5-5 人口センサス結果に基づくセンサスアトラスの作成 5-6 関係省庁等統計職員に対する人口センサスの結果利用・分析に係る研修	供与機材 ① A3カラー複合機 ② A4カラーコピー機 ③ センサス用サーバー ④ 入力用PCのネットワーク関連機器 ⑤ プロジェクター ⑥ センサス用ソフトウェア (サーバー、データベース、インターネットサービス、アプリケーション構築並びにGIS用) 等	前提条件 ・ UNFPA及び他ドナーの2008年人口センサスへの協力が同センサス終了まで継続する。 ・ ノンプロ無償見返り資金などにより人口センサスに必要な資金が確保される。 ・ カンボジア政府が2008年人口センサスを延期または中止しない。 ・ 統計センターが計画通り建設される。
【人口センサス：小地域統計】 6-1 NISにおける人口センサスの Village 別詳細集計システムの構築 (UNFPAアドバイザーと共同で実施) 6-2 州計画局等統計職員に対する人口センサスの Village 別詳細集計結果の利用・分析に係る研修	ローカルコスト ・ プロジェクト活動に係る運営経費 その他 ・ プロジェクト活動のために必要なデータへの自由なアクセスの承認 (人口データ、経済データ等)	
【事業所リステイニング】 7-1 事業所リステイニングの調査企画の実施 7-2 事業所名簿の集計、分析及び提供 7-3 NISにおける経済統計調査用サンプリングフレームムの構築 7-4 事業所統計のサンプル調査の実施	その他 ・ 日本人専門家のための事務室及び事務用品	
【ワークシヨップ】 8-1 プロジェクト開始時にセミナーを開催 8-2 調査区設定結果についてワークシヨップを開催 8-3 人口センサス結果公表時にワークシヨップを開催 8-4 プロジェクト広報のためのセミナーを開催		
【組織記憶】 9-1 人口センサス詳細手続関連の文書の作成および修正		
【ドナー間調整】 10-1 人口センサスに関する調整委員会への参加 10-2 UNFPA その他ドナーとの会合及び調整		

